本書をよくお読みになって製品をご利用ください。

# ユーザーズガイド
# －ネットワーク設定編－



## 困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、右記の手順で原因をお調べください。

**1** ネットワーク設定について困ったときは

第15章 困ったときは（トラブル対処方法）

**2** ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる

http://solutions.brother.co.jp/

サポート ブラザー　検索

オンラインユーザー登録をお勧めします。

ブラザーマイポータル

**ブラザーマイポータル会員専用サイト**

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

**オンラインユーザー登録** ▶ https://myportal.brother.co.jp/

Version A JPN

# 目　次

# 本書の見かた

本文中では、マークおよび商標について、次のように表記しています。

## マークについて

| | |
|---|---|
|  | 本製品をお使いになるにあたって、注意していただきたいことがらを説明しています。 |
|  | 本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。 |

## 本製品の呼称について

本書では、DCP-J515N/J715N、MFC-J615N のことを「液晶ディスプレイモデル」、画面上に表示されたボタンやテンキーを直接押して操作するタッチパネル機能を備えている MFC-J850DN/J850DWN のことを「タッチパネルモデル」と記載しています。
また、場合によっては、タッチパネルモデルのコピーやファクス送信操作を行う本体を「複合機本体」、付属している電話機を「子機」、その置き台を「通信ボックス」と記載しています。

## イラストについて

外観イラストは MFC-J615N を代表で使用しています。
操作パネルのボタンのイラストは、液晶ディスプレイモデルでは MFC-J615N を、タッチパネルモデルでは MFC-J850DN を使用しています。モデル特有の機能の場合は、該当モデルのボタンのイラストを使用しています。
お使いのモデルによっては本書で使用している操作パネルのボタンとデザインが異なる場合があります。該当するボタンに読み替えてください。

## 編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

# ネットワークの概要

本製品のネットワークインターフェースを利用して LAN または WAN に接続し、ネットワーク上のパソコンから本製品で原稿のスキャンや印刷ができます。
本製品は、IEEE802.11b/g 無線ネットワークに対応し、無線認証およびセキュリティを使用したインフラストラクチャ通信またはアドホック通信で動作します。
付属のソフトウェア BRAdmin Light を使用して、ネットワークインターフェースの設定ができます（液晶ディスプレイモデルのみ）。本書は、本製品をネットワーク上で使用するために必要な設定方法について説明しています。

## 特長と機能

### ネットワークプリンター機能

（Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2003 R2/2003 R2 x64 Edition/2008/2008 R2、Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.4.11 ～ 10.6.x）

本製品のネットワークインターフェースは TCP/IP に対応しています。TCP/IP の印刷プロトコルを使用して、ネットワーク上のパソコンから直接印刷できます。

### ネットワークスキャン機能

（Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.4.11 ～ 10.6.x）

白黒またはカラーでスキャンした画像データを、ネットワーク上のパソコンへ直接保存できます。

### ネットワーク PC-FAX 送信機能（MFC モデルのみ）

（Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.4.11 ～ 10.6.x）

アプリケーションで作成したファイルを、ファクスとして送信できます。あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクスの送信時に便利です。

### ネットワーク PC-FAX 受信機能（MFC モデルのみ）

（Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows® 7）

受信したファクスを、本製品とネットワーク接続しているパソコンに送ります。パソコン上で内容を確認してから印刷できます。詳しくは、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

### ネットワークリモートセットアップ機能（MFC モデルのみ）

（Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.4.11 ～ 10.6.x）

本製品の設定をパソコンから変更したり、本製品の電話帳を編集することができます。

### ネットワークメディアカードアクセス機能

（Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.4.11 ～ 10.6.x）

本製品に挿入したメディア（メモリーカードや USB フラッシュメモリー）にネットワーク経由でアクセスできます。

### 管理ユーティリティ BRAdmin Light（液晶ディスプレイモデルのみ）

（Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2008/2008 R2、Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.4.11 ～ 10.6.x）

付属のソフトウェア BRAdmin Light を使用すると、本製品のネットワークインターフェースの設定が簡単にできます。

### 管理ユーティリティ BRAdmin Professional（液晶ディスプレイモデルのみ）

（Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2008/2008 R2、Windows Vista®、Windows® 7）

BRAdmin Professional を使用すると、ブラザー製品のネットワークインターフェースや PC-FAX 送信時に使用する電話帳の設定をまとめて管理できます。BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

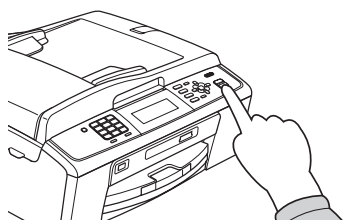
## 無線 LAN 機器使用の際のご注意

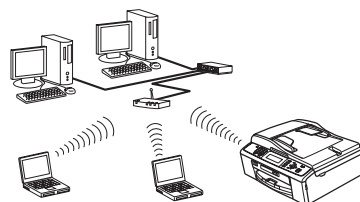
本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

無線電波の使用可能距離は、最大 70m です。本製品の設置場所や周囲の環境、また使用する機器の種類により、使用可能距離や通信速度は異なります。

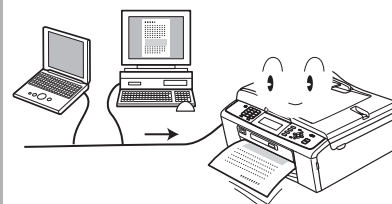
# やりたいこと目次

### 操作パネルを使ってネットワークの設定をする

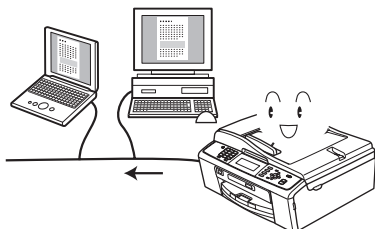
操作パネルのボタンを使用して、ネットワーク上で本製品を使用するための設定ができます。
P.2-2

### 無線 LAN を使う

LAN ケーブルを使用しないで、無線でネットワークに接続できます。
P.4-1

### ネットワークプリンターとして使う

本製品をネットワーク環境で使用します。ネットワーク上の複数のパソコンから印刷できます。

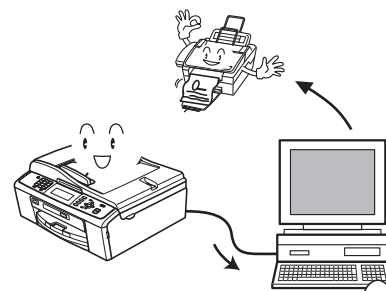
- **Windows®** の場合 P.5-2
- **Macintosh** の場合 P.10-2

### ネットワークスキャナーとして使う

本製品をネットワーク上で共有できるスキャナーとして利用できます。

- **Windows®** の場合 P.6-1
- **Macintosh** の場合 P.11-1

### ネットワーク PC-FAX を使う（MFC モデルのみ）

パソコン上のアプリケーションで作成したファイルを印刷せずに送信できます。

- **Windows®** の場合 P.7-1
- **Macintosh** の場合 P.12-1

ネットワーク PC-FAX 受信機能（Windows® のみ）については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「パソコンでファクスを受信する」

### ネットワークリモートセットアップ（MFC モデルのみ）

本製品にネットワーク経由でアクセスして、各種設定を変更できます。

- **Windows®** の場合 P.8-1
- **Macintosh** の場合 P.13-1

### BRAdmin Light を使って本製品を管理する（液晶ディスプレイモデルのみ）

付属のソフトウェア **BRAdmin Light** を使ってアクセスし、管理や設定をすることができます。

- **Windows®** の場合 P.9-1
- **Macintosh** の場合 P.14-1

### ネットワークでメディアを利用する［ネットワークメディアカードアクセス］

ネットワークで接続された複数のパソコンから、本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーなどのメディアにアクセスできます。

詳しくは、下記をご覧ください。
Windows® の場合
⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」－「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」
Macintosh の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」－「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」

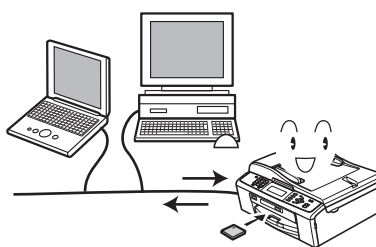
# はじめに

# 第 1 章 ネットワークで使う前に

## ネットワーク導入作業の流れ

別冊の「かんたん設置ガイド」の手順に従ってドライバーのインストールを進めると、自動的にネットワークの設定が完了します。
手動で設定する場合は、次の手順で行います。

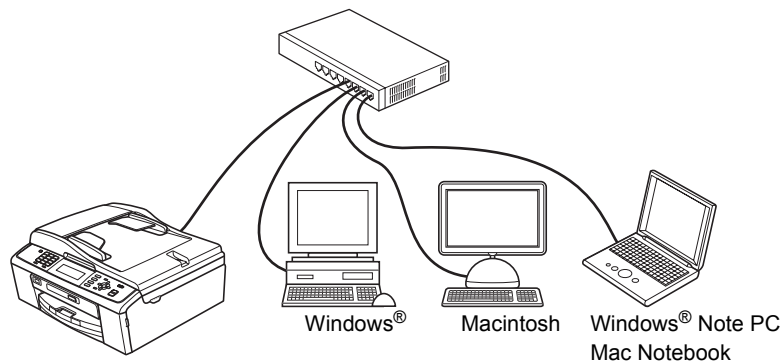
# ネットワークの接続方法について

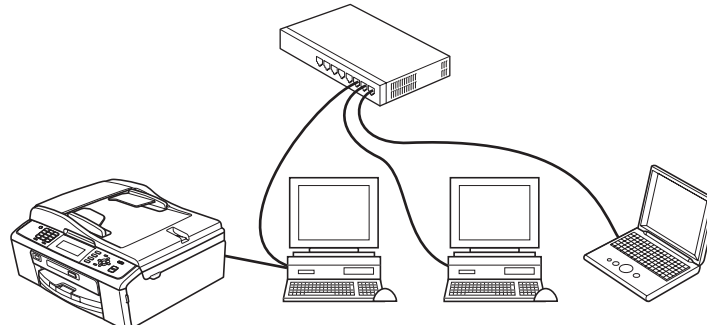
ネットワークの接続方法には、有線 LAN 接続と無線 LAN 接続があります。

## 有線LAN接続の場合(DCP-J715N、MFC-J615Nのみ)

ネットワークを有線 LAN で接続する場合、各パソコンからブロードバンドルーターやハブを通じて直接本製品を使用する「ピアツーピア接続」と、本製品に接続しているパソコンを経由して使用する「ネットワーク共有」があります。

本書ではピアツーピア接続の設定方法について記載しています。
ネットワーク共有の設定方法については、オペレーティングシステムの共有プリンターに関する説明やヘルプを参照してください。

### ●ピアツーピア接続

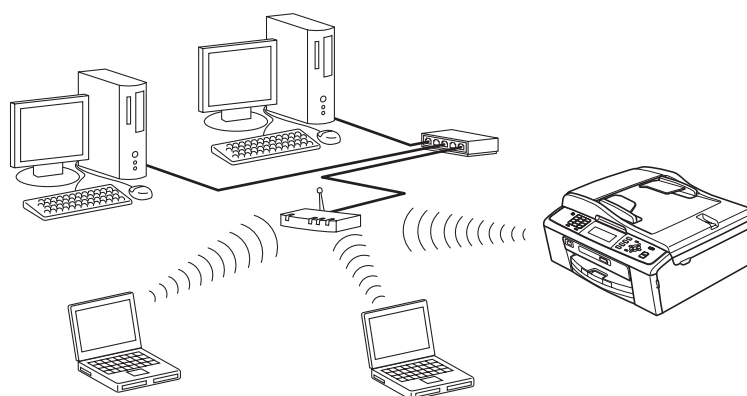
各パソコンにプリンターポートの設定が必要です。

### ●ネットワーク共有

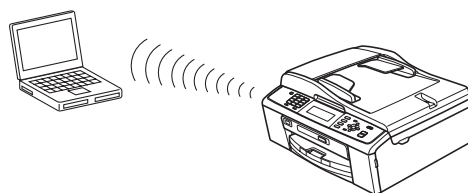
プリンターに直接接続されているパソコンにのみプリンターポートを設定し、そのパソコンを経由してほかのパソコンも本製品を共有します。ただし、本製品に接続されているパソコンの電源が入っていないと、ほかのパソコンは本製品を使用できません。

ネットワーク共有の方法については Windows® または Macintosh の共有プリンターに関する説明やヘルプを参照してください。

## 無線 LAN 接続の場合

無線 LAN には、インフラストラクチャ通信とアドホック通信の 2 つのタイプがあります。

### インフラストラクチャ通信
### （推奨：本ガイドでは、インフラストラクチャ通信による設定について説明しています。）

インフラストラクチャ通信のネットワークでは、ネットワークの中心に無線 LAN アクセスポイントが設置され、有線のネットワークへ橋渡しをするほかにゲートウェイとしても機能します。本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブを無線 LAN アクセスポイントを経由して受け取ります。

### アドホック通信

アドホック通信のネットワークでは、無線 LAN アクセスポイントが存在しません。それぞれの無線機器は個別に直接通信します。本製品をアドホックモードに設定している場合は、印刷データを送信するパソコンからすべての印刷を直接受け取ります。

- アドホック通信は、機器間のみで通信を行います。セキュリティレベルが低いため、インターネットをご利用の場合は、インフラストラクチャ通信を行うことをお勧めします。
- アドホック通信を行うための設定は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）の「よくあるご質問（Q&A）」をご覧ください。

# ネットワーク接続に必要な環境を整える

本製品をネットワーク上で使用するために、あらかじめ準備したり調べておくものについて説明します。

## 準備するもの

本製品のほかに、LAN ケーブル（ストレートケーブル）やハブまたはハブ機能を内蔵するルーターなどを準備してください。

### LAN ケーブル（有線 LAN 接続の場合）

本製品やパソコン、またはハブなどの機器同士をつなぐケーブルです。LAN ケーブルにはいろいろな規格がありますが、本製品では、カテゴリ 5 以上のケーブルを使用してください。
また、同じカテゴリのケーブルにもストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類がありますが、本製品ではストレートケーブルを使用してください。ストレートケーブルはルーターとパソコンの接続、パソコンとハブの接続に使用されるケーブルで、ほとんどの場合はストレートケーブルで接続が可能です。クロスケーブルは 2 台のパソコン同士を直接接続するときなどに使用されます。

ケーブルの長さは、機器間の距離に多少の余裕を持って購入してください。

無線 LAN をご利用の場合でも、無線対応していないパソコンとネットワーク接続するときは、LAN ケーブルが必要です。この場合、パソコンと無線 LAN アクセスポイントを LAN ケーブルで接続してください。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントの説明書をご覧ください。

### ハブ

複数台のパソコンなどをネットワーク接続するときに必要な集線装置です。ハブには、大きく分けてリピータハブとスイッチングハブがあります。リピータハブは主に 10BASE-T で使用される集線装置です。スイッチングハブは主に、100BASE-TX や 1000BASE-T に使用される集線装置で、信号の流れを制御してコリジョンという信号の衝突が起きないようにする機能を持っています。
ハブに接続できる機器の数はハブのポート数によって決まります。お使いの環境から、何台の機器を接続するかを検討して購入してください。

### ルーター

ADSL や CATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスの LAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。ルーターには、接続した各機器に自動で IP アドレスを割り当てる DHCP 機能や、LAN 内の独自の IP アドレス（プライベート IP アドレス）を持つ機器に、必要に応じてインターネット用の IP アドレス（グローバル IP アドレス）を割り当てる NAT 機能があります。
さらにインターネット接続に必要なプロトコルに対応していたり、インターネットからの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能などを持っている機器もあります。

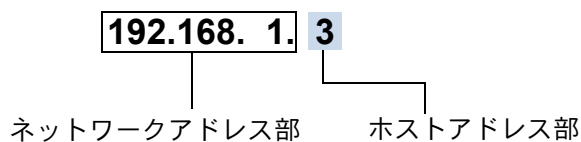
- 無線 LAN をご利用の場合は、無線 LAN アクセスポイント（無線 LAN ルーター）または無線 LAN 対応のパソコンが必要です。
- ルーターにハブ機能が内蔵されている場合は、別途準備する必要はありません。

# IP アドレスを決める

## ● IP アドレスとは

IP アドレスは、接続しているパソコンの住所にあたるものです。TCP/IP ネットワークに接続するパソコンなどの機器（ノード）には、必ず IP アドレスを割り当てる必要があります。
IP アドレスは、0 ～ 255 までの数字を「.（ピリオド)」で区切って「192.168.1.3」のように表現します。
ローカルネットワークでは、IP アドレスはサブネットマスクによって「ネットワークアドレス部」と「ホストアドレス部」に分割されています。サブネットマスクを設定することにより、ホストアドレス部だけでそのネットワーク全体を管理できます。IP アドレスとサブネットマスクは常にセットで管理してください。

**例）192.168.　1.3　　　IP アドレス**
**　　255.255.255.0　　サブネットマスク**

と設定されている場合、

という意味を持っています。このうち利用可能なホストアドレス部の値は、予約された "0" と "255" を除いた 1 ～ 254 の範囲で、「192.168.1.3」は、

**192.168.1.1~254**

の中のひとつのアドレスであることがわかります。このネットワークに本製品を追加する場合は、ホストアドレス部に重複しないよう変更した値を割り当ててください。

**予約されているアドレス**
上記の例では、192.168.1.0 がネットワークアドレス、192.168.1.255 がブロードキャストアドレスとなり、本製品に割り当てることはできません。

IP アドレスは次の方法で割り当てます。

### IP アドレス配布サーバーを利用している場合

本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。ほとんどのルーターは、この機能を持っています。

### IP アドレス配布サーバーを利用していない場合

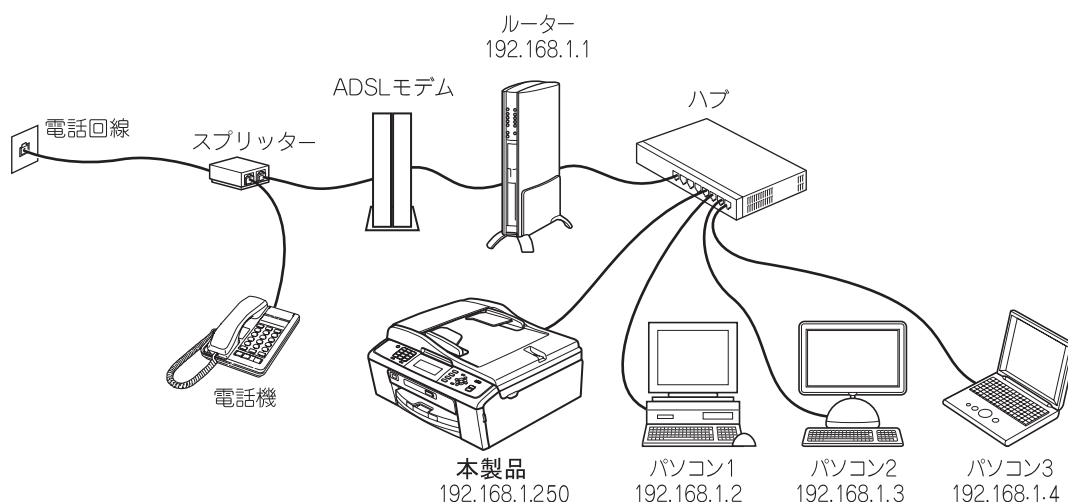
DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合でも APIPA（AutoIP）機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、割り当てられた IP アドレスがお使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、本製品の操作パネルや BRAdmin Light（液晶ディスプレイモデルのみ）を使用して本製品の IP アドレスを変更してください。

### IP アドレスの決め方

本製品を同じネットワーク上に接続するためには、現在使用しているルーターなどの初期値に合わせると簡単に設定、管理することができます。IP アドレスを手動で設定する場合は次のように設定します。
ルーターの LAN 側 IP アドレスが「192.168.1.1」、サブネットマスクが「255.255.255.0」である場合、接続する本製品やパソコンにネットワークアドレス部は同じ値を設定し、ホストアドレス部にはそれぞれ異なる値を割り当てます。ここでは「2 ～ 254」の範囲で設定します。
次の例を参考に、接続する機器の IP アドレスを設定してください。

例）

| 機器名（ノード） | IP アドレス | サブネットマスク |
|---|---|---|
| ルーター | 192.168.1.　1 | 255.255.255.0 |
| 本製品 | 192.168.1.250 | 255.255.255.0 |
| パソコン 1 | 192.168.1.　2 | 255.255.255.0 |
| パソコン 2 | 192.168.1.　3 | 255.255.255.0 |
| パソコン 3 | 192.168.1.　4 | 255.255.255.0 |

メモ

**ネットワーク管理者がいるときは**

事務所などで多くの機器をネットワーク接続している場合は、ネットワークを管理している担当者に使用できる IP アドレスなどを問い合わせてください。数値を適当に設定すると、ネットワーク接続できないなどトラブルの原因になります。

**ネットワーク内にルーターがあるときは**

ルーターにも IP アドレスが割り当てられています。その IP アドレスを本製品またはパソコンに設定しないでください。ルーターの IP アドレスはルーターの取扱説明書を確認するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

**DHCP 環境でお使いの場合**

ルーターには DHCP 機能があり、初期状態で有効になっている場合があります。このときはルーターの DHCP 機能を無効にするか、本製品の IP アドレス取得方法を【Static】にしてください。

⇒「IP 取得方法」P.3-2 P.4-46

ルーターについては別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

## TCP/IP を使用して印刷するには、本製品に IP アドレスを設定する必要があります

使用するパソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本製品の間にルーターが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。

**ゲートウェイの設定**

ルーターはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルーターが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルーターの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

現在の IP アドレスを確認するには、「ネットワーク 設定内容リスト」を印刷してください。

⇒「ネットワーク設定リストの出力」P.2-9

# ネットワークの設定

# 第２章 ネットワークの接続方法を設定する

本書では、DCP-J515N/J715N、MFC-J615N のことを「液晶ディスプレイモデル」、画面上に表示されたボタンやテンキーを直接押して操作するタッチパネル機能を備えている MFC-J850DN/J850DWN のことを「タッチパネルモデル」、MFC-J850DN/DWN に付属している電話機を「子機」、その置き台を「通信ボックス」と記載しています。

## 本製品で設定する

パソコンから操作しなくても、本製品の操作パネルやタッチパネルのボタン、または通信ボックスのナビゲーションキーを使用して、本製品をネットワークで使用するための設定ができます。液晶ディスプレイやタッチパネル、通信ボックスの画面には、現在の設定内容や選べる項目名が表示されます。

### 設定や確認ができる項目

#### 本製品の操作パネルやタッチパネルから設定できる項目

| 有線 LAN 設定項目（DCP-J715N、MFC-J615N のみ） | | 参照先 |
|---|---|---|
| TCP/IP | IP 取得方法 | P.3-2 |
| | IP アドレス | P.3-3 |
| | サブネット マスク | P.3-4 |
| | ゲートウェイ | P.3-5 |
| | ノード名 | P.3-6 |
| | WINS 設定 | P.3-7 |
| | WINS サーバ | P.3-8 |
| | DNS サーバ | P.3-9 |
| | APIPA | P.3-10 |
| イーサネット | | P.3-11 |
| MAC アドレス | | P.3-12 |
| 無線 LAN 設定項目 | | 参照先 |
| TCP/IP | IP 取得方法 | P.4-46 |
| | IP アドレス | P.4-48 |
| | サブネット マスク | P.4-50 |
| | ゲートウェイ | P.4-52 |
| | ノード名 | P.4-54 |
| | WINS 設定 | P.4-56 |
| | WINS サーバ | P.4-58 |
| | DNS サーバ | P.4-60 |
| | APIPA*1 | P.4-62 |
| 無線接続ウィザード | | P.4-6 |
| WPS/AOSS | | P.4-20 |
| WPS（PIN コード） | | P.4-23 |
| 無線状態 | 接続状態 | P.4-63 |
| | 電波状態 | P.4-65 |
| | SSID | P.4-66 |
| | 通信モード | P.4-67 |
| MAC アドレス | | P.4-69 |
| **その他の設定項目** | | 参照先 |
| 有線 / 無線切替え *2 | | P.2-5 |
| 無線 LAN 有効 *3 | | P.2-6 |
| ネットワーク設定リセット | | P.2-7 |

*1 MFC-J850DN/850DWN では表示されません。
*2 DCP-J715N、MFC-J615N のみで表示されます。
*3 DCP-J515N のみで表示されます。

## 通信ボックスから設定できる項目

| 無線 LAN 設定項目 | | 参照先 |
|---|---|---|
| IP シュトクホウホウ | | P.4-46 |
| IP アドレス | | P.4-48 |
| サブネットマスク | | P.4-50 |
| ゲートウェイ | | P.4-52 |
| ムセン ジョウタイ | セツゾクジョウタイ | P.4-63 |
| | デンパジョウタイ | P.4-65 |
| | SSID | P.4-66 |
| | ツウシンモード | P.4-67 |
| その他の設定項目 | | 参照先 |
| MAC アドレス | | P.4-69 |
| ネットワークセッテイリセット | | P.2-7 |

本製品に付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM に収録されている BRAdmin Light を使用して設定することもできます。（液晶ディスプレイモデルのみ）
Windows® の場合⇒「BRAdmin Light で設定する（液晶ディスプレイモデルのみ）」P.9-1
Macintosh の場合⇒「BRAdmin Light で設定する（液晶ディスプレイモデルのみ）」P.14-1

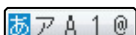
# 文字の入力方法

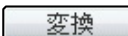
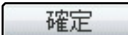
## 液晶ディスプレイモデルの場合

• MFC モデルの場合

操作パネルの ～ 、 、 のダイヤルボタンで入力します。複数の文字が割り当てられているキーは、キーを押すたびに文字が切り替わります。

/ でカーソルを左右に移動できます。同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力する場合には、 を押します。

• DCP モデルの場合

画面に表示されたキーを 、 、 、 で選び、 を押して入力します。

文字の種類は、 で切り替えます。英字→数字→記号の順で切り替わります。

/ でカーソルを左右に移動できます。

## タッチパネルモデルの場合

タッチパネルに表示されているキーボードを直接押して、入力します。
文字の種類は、 を押して切り替えます。押すたびに、ひらがな→カタカナ→英字→数字→記号の順で切り替わります。複数の文字が割り当てられているキーは、キーを押すたびに文字が切り替わります。

入力した文字の変換・確定などは次のボタンを使って行います。

変換 : ひらがなを漢字に変換します。

確定 : 入力した文字を確定します。

: 選択中の文字を消去します。 を押して削除したい文字までカーソルを移動して押します。

: カーソルを左右に移動します。同じボタンを続けて入力する場合には、 を押します。

## 通信ボックスの場合

画面に表示された選択肢を / で選び、 機能/確定 で確定します。入力できる文字は数字と記号のみです。

# 有線 LAN/ 無線 LAN を切り替える（DCP-J715N、MFC-J615N のみ）

ネットワークの接続方法が決定したら、本製品でも接続方法を設定します。設定を切り替えた場合は、画面の説明に従って、本製品を再起動してください。

- 本製品では、無線 LAN と有線 LAN を同時に使用することはできません。同時に接続していても、【有線 / 無線切替え】で設定されている接続が有効になります。
- 【有線 LAN】に設定されていても、無線接続の操作（WPS/AOSS™ 機能の利用または無線接続ウィザードの開始）を実行すると、自動的に【無線 LAN】に切り替わります。

を押し、/ で【ネットワーク】を選び、【有線 / 無線切替え】を選んで、を押します。

/ で【有線 LAN】または【無線 LAN】を選び、を押します。

設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【有線 LAN】です。

を押します。

設定メニューを終了します。

# 無線 LAN 接続を有効にする（DCP-J515N のみ）

無線 LAN 接続を行う場合は、本製品の無線 LAN 接続設定を有効にしてください。

【オフ】に設定していても、無線接続の操作（WPS/AOSS™ 機能の利用または無線接続ウィザードの開始）を実行すると、自動的に【オン】に切り替わります。

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN 有効】を選んで、OK を押します。

▲/▼ で【オン】を選び、OK を押します。

設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【オフ】です。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

# ネットワーク設定リセット

現在のネットワーク設定をすべて初期化して、お買い上げ時の設定に戻します。

## 液晶ディスプレイモデルの場合

メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【ネットワーク設定リセット】を選んで、OK を押します。

【ネットワーク設定をリセットしますか？ / はい ⇒ 1 を押してください / いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。
※型番の先頭に「DCP」がついている機種の場合は、【ネットワーク設定をリセットしますか？ / はい ⇒田を押してください / いいえ ⇒日を押してください】と表示されます。

メニュー を押し、▲/▼で【初期設定】、【設定リセット】、【ネットワーク設定リセット】の順に選んでも設定できます。

1 (MFC-XXXX の場合）または 枚数 + (DCP-XXXX の場合）を押します。

【再起動しますか ?/ はい ⇒ 1 を押してください / いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。
※型番の先頭に「DCP」がついている機種の場合は、【再起動しますか？ / はい ⇒田を押してください / いいえ ⇒日を押してください】と表示されます。

1 (MFC-XXXX の場合）または 枚数 + (DCP-XXXX の場合）を押します。

数秒後に本製品が再起動します。

## タッチパネルモデルの場合

先に通信ボックスでリセット操作をしたあと、続けて複合機本体のリセット操作を行います。

複合機本体と通信ボックスの接続がうまくいかないときは、⇒「通信ボックス接続リセット」P.15-11 を行ってください。

**1 通信ボックスの [機能/確定] を押し、[▼ ⏮] / [▲ ⏭] で【3. ネットワーク】を選び、[機能/確定]【0. ネットワークセッテイリセット】を選んで、[機能/確定] を押します。**

【ネットワークセッテイリセット ?】と【▼　リセット　▲　キャンセル】が交互に表示されます。

[機能/確定] を押し、[▼ ⏮] / [▲ ⏭] で【0. ショキ　セッテイ】、【7. セッテイリセット】、【2. ネットワークセッテイリセット】の順に選んでも設定できます。

**2 [▼ ⏮]（リセット）を押します。**

【サイキドウ　シマスカ ?】と【▼　スル　▲　シナイ】が交互に表示されます。

**3 [▼ ⏮]（スル）を押します。**

数秒後に通信ボックスが再起動します。
再起動が完了したら、引き続き、複合機本体のリセットを行います。

**4 複合機本体画面の【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押します。**

**5 [▼] / [▲] を押して画面をスクロールさせ、【ネットワーク設定リセット】を押します。**

【メニュー】を押し、【初期設定】、【設定リセット】、【ネットワーク設定リセット】の順に選んでも設定できます。

【最初に　通信ボックスの［機能 / 確定］を押してショキセッテイ　>　セッテイリセット　>　ネットワークセッテイリセット　を実行してください　はい、実行しました / リセットをやめます】と表示されます。

**6 【はい、実行しました】を押します。**

【再起動しますか ? 実行する場合は　［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください　/ はい / いいえ】と表示されます。

**7 【はい】を、2 秒間押します。**

数秒後に本製品が再起動します。

# ネットワーク設定リストの出力

本製品の現在動作しているネットワーク接続（有線 LAN または無線 LAN）に関する設定内容（MAC アドレス、ノード名、IP アドレスなど）を印刷して確認できます。

ネットワーク設定リストは、モノクロでしか印刷できません。

## 液晶ディスプレイモデルの場合

メニュー を押し、▲/▼ で【レポート印刷】を選び、OK【ネットワーク設定リスト】を選んで、OK を押します。

モノクロスタート を押します。

## タッチパネルモデルの場合

【メニュー】を押し、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押します。

▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【ネットワーク設定リスト】を押します。

モノクロスタート を押します。

## 通信ボックスの場合

機能/確定 を押し、▼ / ▲ で【4. レポート　インサツ】を選び、機能/確定【3. ネットワークセッテイリスト】を選んで、機能/確定 を押します。

【カクテイボタンヲ　オス】と表示されます。

機能/確定 を押します。

ネットワーク設定リストが複合機本体から出力されます。

# 無線 LAN レポートの出力

現在の本製品の無線接続状況を確認できます。
無線 LAN 接続が正しく設定できていない場合は、その対処法についても印刷されますので、通信がうまくできないときに出力して確認してください。レポートの内容について詳しくは、別冊の「かんたん設置ガイド」の「困ったときは」をご覧ください。

- 下記の手順を行っても無線 LAN レポートが印刷されない場合は、しばらく待ってから、もう一度やり直してください。
- 無線 LAN 接続設定をおこなった場合は、設定完了後に自動的に無線 LAN レポートが出力されます。無線 LAN 接続が正しく設定できているかをご確認ください。
  無線 LAN レポートの内容について詳しくは、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
- 無線 LAN レポートは、モノクロでしか印刷できません。

## 液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【レポート印刷】を選び、OK【無線 LAN レポート】を選んで、OK を押します。

2 モノクロ スタート を押します。

## タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【無線 LAN レポート】を押します。

3 モノクロ スタート を押します。

# 第3章 有線LANの設定をする（DCP-J715N、MFC-J615Nのみ）

## TCP/IPの設定

TCP/IPを使用して印刷するには、本製品にIPアドレスを設定します。
パソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IPアドレスとサブネットマスクを設定します。ルーターの先に本製品が接続されている場合は、ルーターのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。

DHCP、BOOTP、RARPまたはAPIPA機能を使用している場合は、TCP/IPの各項目は自動的に設定されます。
それらの機能を使用しないで手動でIPアドレスを設定する場合は、自動的にIPアドレスを取得しないように「IP取得方法」を【Static】に設定してください。
⇒「IP取得方法」P.3-2

このメニューは次の項目で構成されています。

- **IP** 取得方法
- **IP** アドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイ
- ノード名
- **WINS** 設定
- **WINS** サーバ
- **DNS** サーバ
- **APIPA**

**TCP/IPを設定するほかの方法**

- BRAdmin Lightを使用する
  Windows® の場合⇒「ネットワークインターフェースを設定する」P.9-1
  Macintoshの場合⇒「ネットワークインターフェースを設定する」P.14-1
- そのほかの設定方法⇒「IPアドレスの設定方法」P.16-2

設定の変更は、リモートセットアップ（MFCモデルのみ）でも行うことができます。
Windows® の場合⇒「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.8-1
Macintoshの場合⇒「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.13-1

## IP 取得方法

IP アドレスの取得方法を設定します。

メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【IP 取得方法】の順に選びます。

◀/▶で【Auto】、【Static】、【RARP】、【BOOTP】または【DHCP】を選び、OK を押します。

IP アドレス取得方法が設定されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

## IP アドレス

本製品の現在の IP アドレスを確認できます。「IP 取得方法」で【Static】以外の取得方法が選ばれている場合は、RARP、BOOTP または DHCP のプロトコルを使用して IP アドレスを自動的に取得します。
IP アドレスを変更すると、「IP 取得方法」は自動的に【Static】に変わります。
⇒「IP 取得方法」P.3-2

**メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【IP アドレス】の順に選びます。**
本製品の現在の IP アドレスが表示されます。

**変更する場合は、IP アドレスを入力して、OK（MFC モデルの場合）または セット を選んで OK（DCP モデルの場合）を押します。**

IP アドレスが登録されます。
文字の入力方法 P.2-4
例）192.168.001.003

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

**停止/終了 を押します。**

設定メニューを終了します。

## サブネットマスク

本製品の現在のサブネットマスクを確認できます。RARP、BOOTP、DHCP または APIPA 機能を使用していない場合は、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

**メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【サブネット マスク】の順に選びます。**

本製品の現在のサブネットマスクが表示されます。

**変更する場合は、サブネットマスクを入力して、OK（MFC モデルの場合）または セット を選んで OK（DCP モデルの場合）を押します。**

サブネットマスクが登録されます。
文字の入力方法P.2-4
例）255.255.255.0

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

**停止/終了 を押します。**

設定メニューを終了します。

## ゲートウェイ

本製品の現在のゲートウェイ（ルーター）のアドレスを確認できます。RARP、BOOTP、DHCP または APIPA 機能を使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイ（ルーター）を使用しない場合は、お買い上げ時の設定（初期値）【000.000.000.000】にしておいてください。アドレスがわからない場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

**メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【ゲートウェイ】の順に選びます。**

本製品の現在のゲートウェイアドレスが表示されます。

**変更する場合は、ゲートウェイアドレスを入力して、OK（MFC モデルの場合）または セット を選んで OK（DCP モデルの場合）を押します。**

ゲートウェイアドレスが登録されます。

文字の入力方法P.2-4

例）192.168.001.001

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、▲/▼で設定したい項目に移動できます。

**停止/終了 を押します。**

設定メニューを終了します。

# ノード名

ノード名をネットワークで使用するために登録します（WINS サーバーに登録されている NetBIOS 名になります）。お買い上げ時の設定（初期値）は【BRNxxxxxxxxxxxx】（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）です。ノード名を変更する場合は、15 文字以内で設定してください。

設定の変更は、リモートセットアップ（MFC モデルのみ）でも行うことができます。
Windows® の場合⇒「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.8-1
Macintosh の場合⇒「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.13-1

**メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【ノード名】の順に選びます。**

本製品の現在のノード名が表示されます。

**変更する場合は、ノード名を入力して、OK（MFC モデルの場合）または セット を選んで OK（DCP モデルの場合）を押します。**

ノード名が登録されます。

文字の入力方法P.2-4

例）BRNxxxxxxxxxxxx（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字です。）

最大 15 文字まで入力できます。

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

**停止/終了 を押します。**

設定メニューを終了します。

## WINS 設定

WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバーアドレスの取得方法を設定します。

### Auto

DHCP サーバーからプライマリ、セカンダリの WINS サーバーアドレスを自動的に取得します。
「IP 取得方法」が【Auto】に設定されている必要があります。
⇒「IP 取得方法」P.3-2

### Static

手動で WINS サーバーアドレスを設定します。

**メニュー を押し、/ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【WINS 設定】の順に選びます。**

**/ で【Auto】、【Static】のどちらかを選び、OK を押します。**

WINS 設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、/ で設定したい項目に移動できます。

**停止/終了 を押します。**

設定メニューを終了します。

## WINS サーバ

WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバーのアドレスを設定します。

### ●プライマリ

この項目でプライマリ WINS サーバーの IP アドレスを登録します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS サーバーにノード名を登録します。

### ●セカンダリ

この項目でセカンダリ WINS サーバーの IP アドレスを登録します。セカンダリ WINS サーバーはプライマリ WINS サーバーの機能の一部を補完し、プライマリサーバーが見つからないときに機能します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS サーバーにノード名を登録します。
ネットワーク内にセカンダリ WINS サーバーが存在しない場合は入力しなくても構いません。

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【WINS サーバ】の順に選び、OK を押します。

▲/▼ で【プライマリ】または【セカンダリ】を選びます。

WINS サーバーのアドレスを入力して、OK（MFC モデルの場合）または セット を選んで OK（DCP モデルの場合）を押します。

WINS サーバーのアドレスが登録されます。

文字の入力方法P.2-4

お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、クリア を押したあと、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

## DNS サーバ

DNS（ドメインネームシステム）サーバーのアドレスを設定します。

**プライマリ**

プライマリ DNS サーバーのアドレスを指定します。

**セカンダリ**

セカンダリ DNS サーバーのアドレスを指定します。セカンダリ DNS サーバーはプライマリ DNS サーバーの機能の一部を補完し、プライマリサーバーが見つからない場合に機能します。
ネットワークの負荷が大きい場合に設定してください。

**1**

メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【DNS サーバ】の順に選び、OK を押します。

**2**

▲/▼で【プライマリ】または【セカンダリ】を選びます。

**3**

DNS サーバーのアドレスを入力して、OK（MFC モデルの場合）または セット を選んで OK（DCP モデルの場合）を押します。

DNS サーバーのアドレスが登録されます。

文字の入力方法P.2-4

お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。

メモ 続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、クリア を押したあと、▲/▼で設定したい項目に移動できます。

**4**

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

## APIPA

IP アドレス配布サーバー（DHCP、BOOTP、RARP など）を利用していない場合でも、「APIPA」（AutoIP）を【オン】に設定しておくと、本製品に IP アドレスを自動的に割り当てます。このとき、IP アドレスは 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で割り当てられます。この機能を使用しないときは【オフ】に設定してください。
割り当てられた IP アドレスがお使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light や操作パネルから IP アドレスを変更してください。
⇒「IP アドレスの設定方法」P.16-2

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【APIPA】の順に選びます。

◀/▶ で【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。

APIPA の設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【オン】です。

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

# その他の設定

## イーサネット

リンクモードを設定します。

### Auto

100BaseTX（全二重 / 半二重）、10BaseT（全二重 / 半二重）モードを自動的に選びます。

### 100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD

それぞれのリンクモードに固定されます。
100B-FD：100BaseTX Full Duplex（全二重）
100B-HD：100BaseTX Half Duplex（半二重）
10B-FD：10BaseT Full Duplex（全二重）
10B-HD：10BaseT Half Duplex（半二重）

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【イーサネット】の順に選びます。

◀/▶ で【Auto】、【100B-FD】、【100B-HD】、【10B-FD】または【10B-HD】を選び、OK を押します。

イーサネットの設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

## MAC アドレス

本製品の現在の MAC アドレスを確認できます。MAC アドレスは、本製品のネットワークインターフェースに割り当てられたアドレス番号です。MAC アドレスは変更できません。

**メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【MAC アドレス】の順に選び、OK を押します。**

本製品の MAC アドレスが確認できます。

**停止/終了 を押します。**

設定メニューを終了します。

# 第 4 章 無線 LAN の設定をする

本書では、DCP-J515N/J715N、MFC-J615N のことを「液晶ディスプレイモデル」、画面上に表示されたボタンやテンキーを直接押して操作するタッチパネル機能を備えている MFC-J850DN/J850DWN のことを「タッチパネルモデル」、MFC-J850DN/DWN に付属している電話機を「子機」、その置き台を「通信ボックス」と記載しています。

## ネットワーク環境を確認する

はじめに無線 LAN で接続するネットワーク環境を確認します。
⇒「無線 LAN 接続の場合」P.1-4

## 無線ネットワークについて

### チャンネル

無線ネットワークではチャンネルを使用します。IEEE802.11b では 14 チャンネル、IEEE802.11g では 13 チャンネルまで使用できますが、近隣で無線 LAN アクセスポイントが使用されている場合、電波干渉を生じさせないために使用するチャンネル番号を 5 チャンネル離して設定するのが理想的です。チャンネル変更は、無線 LAN アクセスポイントの設定を変更してください。

### SSID

それぞれの無線ネットワークは独自の SSID を持っています。SSID は無線 LAN アクセスポイントまたはアドホック通信のネットワーク機器に割り当てられていますので、接続する予定のネットワークの無線 LAN アクセスポイントまたはアドホック通信のネットワーク機器と同じ SSID に設定してください。

### 認証方式と暗号化方式について

有線ネットワークとは異なり、通信範囲が物理的に限られていない無線ネットワーク環境下では、セキュリティに関する設定を行い、傍受や不正アクセスを未然に防ぐ必要があります。セキュリティに関する設定には、認証方式（ネットワークにアクセスをしようとしている機器にアクセス権があるかどうかを判断する方法）と暗号化方式（データを暗号化することにより第三者による傍受を防ぐ方法）の設定があります。
本製品を無線ネットワークに確実に接続するためには、これらの設定を正しく行う必要があります。
ここでは、本製品がサポートする認証方式および暗号化方式を紹介します。

#### ●認証方式

本製品がサポートする認証方式は次のとおりです。また、認証方式の設定は自動で行います。

- **オープンシステム認証：認証を行わず、すべてのアクセスを許可します。**
- **共有キー認証（インフラストラクチャ通信のみ）：あらかじめパスワードを設定しておいて、同じパスワードを使用している機器にのみアクセスを許可します。**
- **WPA-PSK/WPA2-PSK：定期的に変更されるパスワードを使用して認証を行います。高いセキュリティを実現できます。WRA-PSK/WPA2-PSK による認証を使用する場合には、接続する相手の機器も WPA-PSK/WPA2-PSK に対応している必要があります。**

#### ●暗号化方式

本製品は暗号化方式として WEP、TKIP および AES をサポートしています。また、暗号化方式の設定は自動で行います。

- なし：暗号化を行いません。
- **WEP**：**WEP（Wired Equivalent Privacy）**の機能を用いてデータを暗号化し送受信を行います。
- **TKIP**：定期的にネットワークキーが変更される暗号化方式です。高いセキュリティを実現できます。
- **AES**：**AES（Advanced Encryption Standard）**は **Wi-Fi Alliance®** が認定する、より強力な暗号化方式です。

## ネットワークキー（パスワード）

本製品で使用する暗号化方式において、設定するネットワークキーは次のとおりです。

### ● WEP 暗号化方式

- **64（40）bit ASCII 文字：半角 5 文字で入力します。**
  例）Hello（大文字と小文字は区別されます）
- **64（40）bit 16 進数：10 桁の 16 進数で半角入力します。**
  例）71f2234aba
- **128（104）bit ASCII 文字：半角 13 文字で入力します。**
  例）Wirelesscomms（大文字と小文字は区別されます）
- **128（104）bit 16 進数：26 桁の 16 進数で半角入力します。**
  例）71f2234ab56cd709e5412aa3ba

### ● TKIP/AES 暗号化方式

PSK（事前共有キー）を ASCII 文字 / 半角 8 ～ 63 文字以内で入力します。
TKIP や AES のネットワークキーは、PSK（事前共有キー）などを元に生成され、定期的に更新されます。

本書では、無線 LAN に関する用語は、社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）発行の「無線 LAN のセキュリティに関するガイドライン（改訂版）」で推奨されている統一用語を使用しています。

| 主な推奨用語 | 各メーカーで使用されている用語 |
|---|---|
| SSID | ネットワーク名、ESS-ID、ESSID |
| SSID の隠ぺい | SSID ステルスモード、SSID 非通知 |
| アドホック通信 | ピアツーピア通信、無線 LAN パソコン通信 |
| インフラストラクチャ通信 | アクセスポイント通信、アクセスポイント経由通信 |
| キーインデックス | WEP キー番号、キー番号 |
| 共有キー認証 | シェアードキー認証 |
| パスワード | ネットワークキー、暗号化キー、セキュリティキー |
| 無線 LAN | ワイヤレス LAN |
| 無線 LAN アクセスポイント | 無線 LAN ルーター、ワイヤレス・ブロードバンドルーター |
| 無線 LAN 端末 | 無線 LAN 子機、ワイヤレスステーション |

# 無線 LAN 設定の方法を選ぶ

本製品の無線 LAN 設定をする場合は、次の 4 つの方法があります。

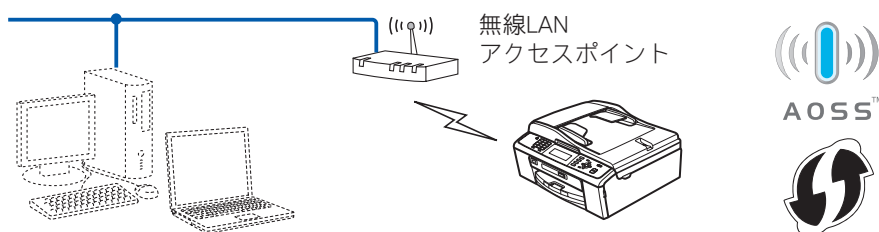
## 操作パネルから無線 LAN の設定を手動で行う（無線接続ウィザード）（推奨）

本製品の無線 LAN 設定をする場合は、操作パネルから無線接続ウィザードを使用することをお勧めします。無線接続ウィザードを使用すると、本製品を無線 LAN に簡単に接続することができます。設定を始める前にお使いの無線 LAN 環境を確認してください。

⇒「無線接続ウィザード」P.4-6

## 操作パネルと無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用する（WPS/AOSS™）

本製品を接続する無線 LAN アクセスポイントが WPS/AOSS™*1（PBC*2 方式）のどちらかに対応している場合は、操作パネルから無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用して、自動で本製品の無線 LAN 設定ができます。

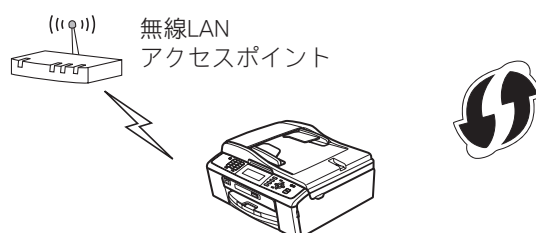
⇒「WPS/AOSS™」P.4-20

*1 WPS は Wi-Fi Protected Setup、AOSS™ は AirStation One-Touch Secure System の略です。
*2 Push Button Configuration

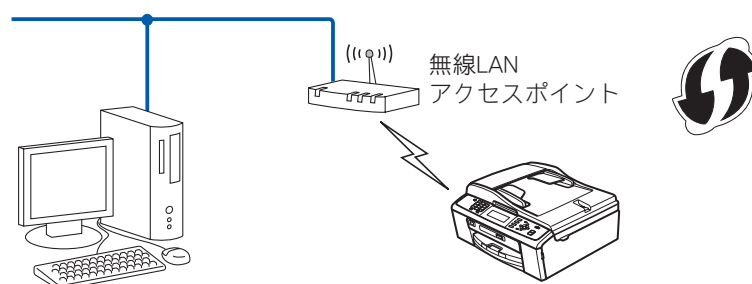
# WPS の PIN 方式を使用する（WPS（PIN コード））

本製品を接続する無線 LAN アクセスポイントが WPS に対応している場合は、WPS の PIN（Personal Identification Number：個人認証番号）方式を使用して本製品の無線 LAN 設定をすることもできます。

⇒「WPS（PIN コード）」P.4-23

## 無線 LAN アクセスポイントをレジストラとして使用する場合の接続

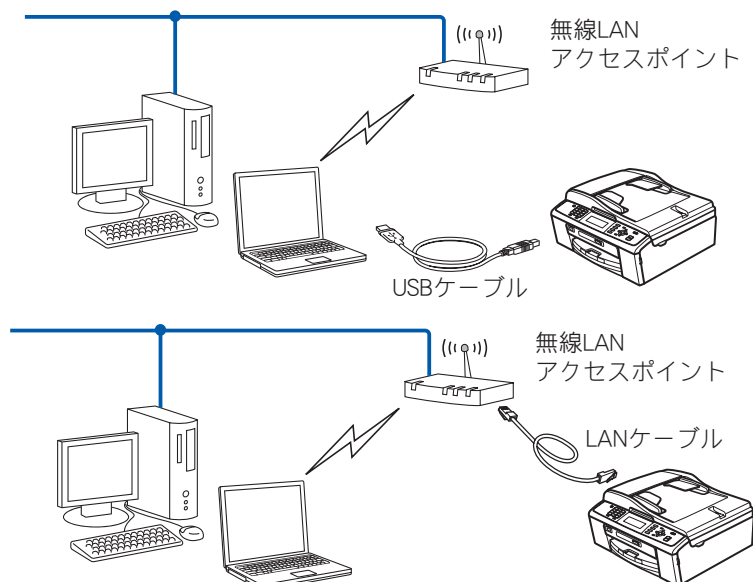
無線 LAN アクセスポイントを無線 LAN のレジストラ（登録管理機器）として使用します。

## パソコンなど別の機器をレジストラとして使用する場合の接続

無線 LAN アクセスポイントに接続しているパソコンなどを無線 LAN のレジストラ（登録管理機器）として使用します。

## ブラザーインストーラーを使用する（液晶ディスプレイモデルのみ）

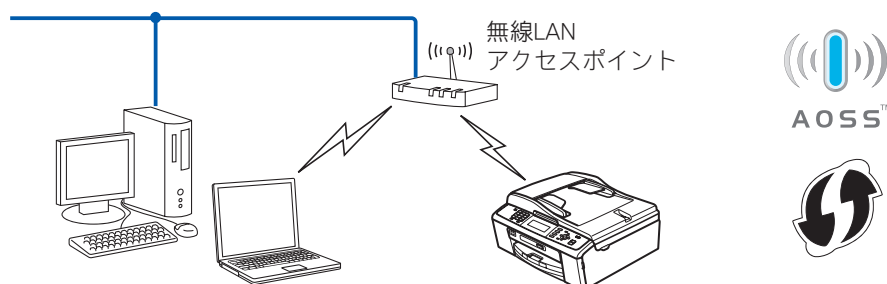
本製品に付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM に収録されているブラザーインストーラーを使用して、本製品の無線 LAN 設定をすることもできます。このインストーラーを使用すると、画面の指示に従って操作することで本製品を無線 LAN に簡単に接続できます。設定を始める前にお使いの無線 LAN 環境を確認してください。また、使用するパソコンは、無線 LAN アクセスポイントに無線 LAN、または有線 LAN で接続されており、ネットワークに接続できる状態になっていることを確認してください。

### ケーブルを使用して手動で無線 LAN 設定をする

無線 LAN アクセスポイントと本製品を一時的に USB ケーブルまたは LAN ケーブル（DCP-J715N、MFC-J615N のみ）で接続し、本製品の無線 LAN 設定を行います。接続したパソコンから本製品を遠隔操作することができます。

⇒「ケーブルで接続して手動で無線 LAN 設定をする（液晶ディスプレイモデルのみ）」P.4-25

### 無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用する（WPS/AOSS™）

本製品に接続する無線 LAN アクセスポイントが、WPS/AOSS™（PBC*1 方式）のどちらかに対応している場合に、無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用して、本製品の無線 LAN 設定を行います。

⇒「無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用する （WPS/AOSS™）（液晶ディスプレイモデルのみ）」P.4-41

*1 Push Button Configuration

# 無線 LAN を設定する

## 無線接続ウィザード

- 無線 LAN 設定後に引き続きドライバーとソフトウェアのインストールを行う場合は、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
- 無線接続ウィザードで設定を行うには、お使いの無線 LAN アクセスポイント（ルーターなど）に設定されている情報が必要です。必ず、無線 LAN アクセスポイントの設定を確認してください。
- 無線 LAN アクセスポイントに設定されている情報は本製品からは調べることができません。お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。それでもわからない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。

### 液晶ディスプレイモデルの場合

使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、SSID（ネットワーク名）とパスワード（ネットワークキー）を調べて控えておきます。これらは設定手順で必要な情報です。

SSID は、メーカーによっては ESSID、ESS-ID とも呼ばれています。オープンシステム認証でセキュリティなし（暗号化なし）の場合は、パスワードはありません。

| SSID（ネットワーク名） | |
|---|---|
| パスワード（ネットワークキー）<br>（セキュリティキー、暗号化キーなど） | |

無線 LAN アクセスポイントに複数の WEP キー（WEP キー 1、WEP キー 2、WEP キー 3、WEP キー 4 など）を設定している場合は、WEP キー 1 を控えておきます。本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【無線接続ウィザード】の順に選び、OK を押します。

DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。

（DCP-J515N の場合）
本製品の「無線 LAN 有効」が【オフ】に設定されていた場合、「無線 LAN をオンにしますか？」というメッセージが表示されます。

（DCP-J715N、MFC-615N の場合）
本製品が有線 LAN に設定されていた場合、「無線に切替えますか？」というメッセージが表示されます。

OK を押すと、接続できる SSID を検索します。検索が終わると、SSID の一覧が表示されます。
(1)SSID：SSID が表示されます。
(2) チャンネル：使用しているチャンネルが 1 ～ 14 で表示されます。
(3) 電波強度：電波の強さが 0 ～ 9 の 10 段階で表示されます。

**▲/▼ で 1 で控えた無線 LAN アクセスポイントの SSID（ネットワーク名）を選び、OK を押します。**

パスワードの入力画面が表示された場合は、パスワード（ネットワークキー）を入力して、OK（MFC モデルの場合）または セット を選んで OK（DCP モデルの場合）を押します。
文字の入力方法P.2-4
パスワードの入力画面が表示されない場合は、5 へ進みます。

- SSID が表示されない場合は、無線 LAN アクセスポイントの電源が入っていることを確認してください。本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を近づけて、もう一度、設定をやり直してください。
- 無線 LAN アクセスポイントが SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）に設定されている場合は、接続先の SSID は表示されません。SSID を入力して設定を行うこともできます。
  ⇒「SSID が隠ぺいされている場合」P.4-9

**【設定を適用しますか？】と表示されたら、1（MFC-XXXX の場合）または 枚数 +（DCP-XXXX の場合）を押します。**

**本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続されます。**

正常に接続された場合は、本製品の画面に【接続しました】と表示されます。

お使いのネットワーク環境によっては、接続に数分かかることがあります。

**接続設定が完了すると、自動的に無線 LAN レポートが印刷されます。**

無線 LAN レポートの「Connection」の項目を確認してください。
「Connection:OK」と記載されていたら、正常に接続されました。

「Connection:Failed」と記載されていた場合は、接続に失敗しました。画面表示の内容と合わせて無線 LAN レポートを確認してください。

- 【パスワードが違います】と表示された場合は、停止/終了 を押してください。入力したパスワードが間違っています。1 の情報を確認して 2 から設定し直してください。
- 【接続に失敗しました】と表示された場合は、停止/終了 を押してください。無線 LAN アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を 1m 程度に近づけて、もう一度、2 から設定し直してください。
- 無線 LAN レポートのエラーコード（Error:TS-XX）を確認してください。エラーコードの内容については、別冊の「かんたん設置ガイド」の「困ったときは」をご覧になり、問題を解決してから、もう一度、設定をやり直してください。
- それでも接続できない場合は、⇒「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」P.15-2 をご覧ください。

**OK を押します。**

設定メニューを完了します。

## ● SSID が隠ぺいされている場合

アドホック通信は、本製品とパソコンとの 1 対 1 通信となるため、無線アクセスポイントとパソコンが既に接続されている場合は、その設定が失われます。アドホック通信の設定を行う前に、必ず、現在のパソコンの無線設定を書き留めておくようにしてください。また、アドホック通信を行う場合は、あらかじめパソコンで SSID を設定しておく必要があります。

**使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、SSID（ネットワーク名）を調べて控えておきます。これは設定手順で必要な情報です。**

SSID は、メーカーによっては ESSID、ESS-ID とも呼ばれています。

| SSID（ネットワーク名） | |
|---|---|

**使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、認証方式、暗号化方式、パスワード（ネットワークキー）を調べて控えておきます。これらは設定手順で必要な情報です。**

(1) オープンシステム認証の場合

暗号化の有無とパスワード（WEP キー）を調べます。

| 認証方式 | オープンシステム認証 |
|---|---|
| 暗号化方式 | なし |

または

| 認証方式 | オープンシステム認証 |
|---|---|
| 暗号化方式 | WEP |
| WEP キー | |

(2) 共有キー認証の場合

パスワード（WEP キー）を調べます。

| 認証方式 | 共有キー認証 |
|---|---|
| 暗号化方式 | WEP |
| WEP キー | |

(3)WPA-PSK の場合

パスワード（事前共有キー）を調べます。

| 認証方式 | WPA-PSK |
|---|---|
| 暗号化方式 | TKIP |
| 事前共有キー | |

(4)WPA2-PSK の場合
パスワード（事前共有キー）を調べます。

| 認証方式 | WPA2-PSK |
|---|---|
| 暗号化方式 | AES |
| 事前共有キー | |

- パスワード（ネットワークキー）は大文字、小文字が区別されます。正確に確認してください。
- 無線 LAN アクセスポイントに複数の WEP キー（WEP キー 1、WEP キー 2、WEP キー 3、WEP キー 4 など）を設定している場合は、WEP キー 1 を控えておきます。本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。
- WEP キーは 5/10/13/26 文字のいずれかです。

**メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【無線接続ウィザード】の順に選び、OK を押します。**

DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。

（DCP-J515N の場合）
本製品の「無線 LAN 有効」が【オフ】に設定されていた場合、「無線 LAN をオンにしますか？」というメッセージが表示されます。

（DCP-J715N、MFC-615N の場合）
本製品が有線 LAN に設定されていた場合、「無線に切替えますか？」というメッセージが表示されます。

OK を押すと、接続できる SSID を検索します。検索が終わると、SSID の一覧が表示されます。
(1)SSID：SSID が表示されます。
(2) チャンネル：使用しているチャンネルが 1 ～ 14 で表示されます。
(3) 電波強度：電波の強さが 0 ～ 9 の 10 段階で表示されます。

**▲/▼ で【<New SSID>】を選び、OK を押します。**

**1 で控えた無線 LAN アクセスポイントの SSID（ネットワーク名）を入力して、OK（MFC モデルの場合）または セット を選んで OK（DCP モデルの場合）を押します。**

文字の入力方法 P.2-4

**6** ▲/▼ で【インフラストラクチャ】を選び、OK を押します

アドホック通信を使用する場合は【アドホック】を選びます。画面の指示に従って、設定を進めてください。

**7** ▲/▼ で 2 で控えた認証方式を選び、OK を押します。

【オープンシステム認証】を選んだ場合は、8 へ進みます。
【共有キー認証】を選んだ場合は、9 へ進みます。
【WPA/WPA2-PSK】を選んだ場合は、10 へ進みます。

**8** ▲/▼ で 2 で控えた暗号化方式を選び、OK を押します。

【WEP】を選んだ場合は、9 へ進みます。
【なし】を選んだ場合は、12 へ進みます。

**9** 2 で控えた WEP キーを入力して、OK（MFC モデルの場合）または セット を選んで OK（DCP モデルの場合）を押し、12 へ進みます。

文字の入力方法P.2-4

**10** ▲/▼ で 2 で控えた暗号化方式を選び、OK を押します。

WPA-PSK の場合は【TKIP】、WPA2-PSK の場合は【AES】を選びます。

**11** 2 で控えた事前共有キーを入力して、OK（MFC モデルの場合）または セット を選んで OK（DCP モデルの場合）を押します。

文字の入力方法P.2-4

**12**【設定を適用しますか？】と表示されたら、1（MFC-XXXX の場合）または 枚数 +（DCP-XXXX の場合）を押します。

## 13 本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続されます。

正常に接続された場合は、本製品の画面に【接続しました】と表示されます。

お使いの環境によっては、接続に数分かかることがあります。

## 14 接続設定が完了すると、自動的に無線 LAN レポートが印刷されます。

無線 LAN レポートの「Connection」の項目を確認してください。
「Connection:OK」と記載されていたら、正常に接続されました。

「Connection:Failed」と記載されていた場合は、接続に失敗しました。画面表示の内容と合わせて無線 LAN レポートを確認してください。

- 【パスワードが違います】と表示された場合は、停止/終了 を押してください。入力したパスワードが間違っています。2 の情報を確認して 3 から設定し直してください。
- 【接続に失敗しました】と表示された場合は、停止/終了 を押してください。無線 LAN アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を 1m 程度に近づけて、もう一度、3 から設定し直してください。
- 無線 LAN レポートのエラーコード（Error:TS-XX）を確認してください。エラーコードの内容については、別冊の「かんたん設置ガイド」の「困ったときは」をご覧になり、問題を解決してから、もう一度、設定をやり直してください。
- それでも接続できない場合は、⇒「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」P.15-2 をご覧ください。

## 15 OK を押します。

設定メニューを完了します。

## タッチパネルモデルの場合

無線 LAN 接続を行う前は複合機本体と通信ボックスはアドホックモードで接続されています。複合機本体と通信ボックスが接続された状態で、無線 LAN 設定を行ってください。複合機本体と通信ボックスが同時に設定されます。

**使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、SSID（ネットワーク名）とパスワード（ネットワークキー）を調べて控えておきます。これらは設定手順で必要な情報です。**

SSID は、メーカーによっては ESSID、ESS-ID とも呼ばれています。オープンシステム認証でセキュリティなし（暗号化なし）の場合は、パスワードはありません。

| SSID（ネットワーク名） | |
|---|---|
| パスワード（ネットワークキー）<br>（セキュリティキー、暗号化キーなど） | |

無線 LAN アクセスポイントに複数の WEP キー（WEP キー 1、WEP キー 2、WEP キー 3、WEP キー 4 など）を設定している場合は、WEP キー 1 を控えておきます。本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。

**通信ボックスの電源が入っていることをご確認ください。**

**【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線接続ウィザード】の順に押します。**

## 複合機本体と通信ボックスの接続状態を自動的に確認します。

接続が確認された場合は、右のような画面が表示されます。

(1)SSID：SSID が表示されます（最大 32 桁）。

(2) チャンネル：使用しているチャンネルが 1 ～ 14 で表示されます。

(3) 電波強度：電波の強さが 0 ～ 9 の 10 段階で表示されます。

接続が確認できない場合は、【通信ボックスと接続できません　待機画面にある［接続確認］を押して接続を確認してください /OK】と表示されます。OK を押した後、停止/終了 を押して待機画面へ戻り、【接続確認】を押してください。

【通信ボックスと接続できません　通信ボックスの電源を入れてください　もしくは「通信ボックス接続リセット」を行ってください】と表示されたら、再度、通信ボックスの電源が入っているかをご確認ください。

- 通信ボックスの電源が入っていなかった場合
  AC アダプターの電源プラグを確実にコンセントに差し込んで、無線 LAN 設定を最初からやり直してください。
- 通信ボックスの電源が入っていた場合
  「通信ボックス接続リセット」を行い、接続方法をお買い上げ時の状態に戻してから、無線 LAN 設定を最初からやり直してください。
  ⇒「複合機本体と通信ボックスの接続がうまくいかないときは（タッチパネルモデルのみ）」P.15-11

## 1 で控えた無線 LAN アクセスポイントの SSID（ネットワーク名）を選びます。

目的の SSID が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

パスワードの入力画面が表示された場合は、パスワード（ネットワークキー）を入力して、OK を押します。

文字の入力方法P.2-4

パスワードの入力画面が表示されない場合は、7 へ進みます。

- SSID が表示されない場合は、無線 LAN アクセスポイントの電源が入っていることを確認してください。本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を近づけて、もう一度、設定をやり直してください。
- 無線 LAN アクセスポイントが SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）に設定されている場合は、接続先の SSID は表示されません。SSID を入力して設定を行うこともできます。
  ⇒「SSID が隠ぺいされている場合」P.4-16

## 【設定を適用しますか？】と表示されたら、【はい】を押します。

## 本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続されます。

正常に接続された場合は、本製品の画面に【接続しました】と表示されます。

お使いのネットワーク環境によっては、接続に数分かかることがあります。

## 接続設定が完了すると、自動的に無線 LAN レポートが印刷されます。

無線 LAN レポートの「Connection」の項目を確認してください。
「Connection:OK」と記載されていたら、正常に接続されました。

「Connection:Failed」と記載されていた場合は、接続に失敗しました。画面表示の内容と合わせて無線 LAN レポートを確認してください。

- 【パスワードが違います】と表示された場合は、停止/終了 を押してください。入力したパスワードが間違っています。1 の情報を確認して 2 から設定し直してください。
- 【接続に失敗しました】と表示された場合は、停止/終了 を押してください。無線 LAN アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を 1m 程度に近づけて、もう一度、2 から設定し直してください。
- 無線 LAN レポートのエラーコード（Error:TS-XX）を確認してください。エラーコードの内容については、別冊の「かんたん設置ガイド」の「困ったときは」をご覧になり、問題を解決してから、もう一度、設定をやり直してください。
- それでも接続できない場合は、⇒「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」 P.15-2 をご覧ください。

## ✕ を押します。

設定メニューを完了します。

### SSID が隠ぺいされている場合

アドホック通信は、本製品とパソコンとの 1 対 1 通信となるため、無線アクセスポイントとパソコンが既に接続されている場合は、その設定が失われます。アドホック通信の設定を行う前に、必ず、現在のパソコンの無線設定を書き留めておくようにしてください。また、アドホック通信を行う場合は、あらかじめパソコンで SSID を設定しておく必要があります。

**使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、SSID（ネットワーク名）を調べて控えておきます。これは設定手順で必要な情報です。**

SSID は、メーカーによっては ESSID、ESS-ID とも呼ばれています。

| SSID（ネットワーク名） | |
|---|---|

**使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、認証方式、暗号化方式、パスワード（ネットワークキー）を調べて控えておきます。これらは設定手順で必要な情報です。**

(1) オープンシステム認証の場合

暗号化の有無とパスワード（WEP キー）を調べます。

| 認証方式 | オープンシステム認証 |
|---|---|
| 暗号化方式 | なし |

または

| 認証方式 | オープンシステム認証 |
|---|---|
| 暗号化方式 | WEP |
| WEP キー | |

(2) 共有キー認証の場合

パスワード（WEP キー）を調べます。

| 認証方式 | 共有キー認証 |
|---|---|
| 暗号化方式 | WEP |
| WEP キー | |

(3)WPA-PSK の場合

パスワード（事前共有キー）を調べます。

| 認証方式 | WPA-PSK |
|---|---|
| 暗号化方式 | TKIP |
| 事前共有キー | |

(4)WPA2-PSK の場合

パスワード（事前共有キー）を調べます。

| 認証方式 | WPA2-PSK |
|---|---|
| 暗号化方式 | AES |
| 事前共有キー | |

- パスワード（ネットワークキー）は大文字、小文字が区別されます。正確に確認してください。
- 無線 LAN アクセスポイントに複数の WEP キー（WEP キー 1、WEP キー 2、WEP キー 3、WEP キー 4 など）を設定している場合は、WEP キー 1 を控えておきます。本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。
- WEP キーは 5/10/13/26 文字のいずれかです。

## 3 通信ボックスの電源が入っていることをご確認ください。

## 4 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線接続ウィザード】の順に押します。

## 5 複合機本体と通信ボックスの接続状態を自動的に確認します。

接続が確認された場合は、右のような画面が表示されます。

(1)SSID：SSID が表示されます（最大 32 桁）。

(2) チャンネル：使用しているチャンネルが 1 ～ 14 で表示されます。

(3) 電波強度：電波の強さが 0 ～ 9 の 10 段階で表示されます。

接続が確認できない場合は、【通信ボックスと接続できません　待機画面にある［接続確認］を押して接続を確認してください /OK】と表示されます。OK を押した後、停止/終了 を押して待機画面へ戻り、【接続確認】を押してください。

【通信ボックスと接続できません　通信ボックスの電源を入れてください　もしくは、「通信ボックス接続リセット」を行ってください】と表示されたら、再度、通信ボックスの電源が入っているかをご確認ください。

- 通信ボックスの電源が入っていなかった場合
  AC アダプターの電源プラグを確実にコンセントに差し込んで、無線 LAN 設定を最初からやり直してください。
- 通信ボックスの電源が入っていた場合
  「通信ボックス接続リセット」を行い、接続方法をお買い上げ時の状態に戻してから、無線 LAN 設定を最初からやり直してください。
  ⇒「複合機本体と通信ボックスの接続がうまくいかないときは（タッチパネルモデルのみ）」P.15-11

## 6 【<New SSID>】を押します。

表示されていない場合は、▼/▲ を押して画面をスクロールさせます

## 7 1 で控えた無線 LAN アクセスポイントの SSID（ネットワーク名）を入力して、OK を押します。

文字の入力方法 P.2-4

**8** 【インフラストラクチャ】を押します。

アドホック通信を使用する場合は【アドホック】を選びます。画面の指示に従って、設定を進めてください。

**9** 2 で控えた認証方式を選びます。

【オープンシステム認証】を選んだ場合は、10 へ進みます。
【共有キー認証】を選んだ場合は、11 へ進みます。
【WPA/WPA2-PSK】を選んだ場合は、12 へ進みます。

**10** 2 で控えた暗号化方式を選びます。

【WEP】を押した場合は、11 へ進みます。
【なし】を押した場合は、14 へ進みます。

**11** 2 で控えた WEP キーを入力して、OK を押し、14 へ進みます。

文字の入力方法P.2-4

**12** 2 で控えた暗号化方式を選びます。

WPA-PSK の場合は【TKIP】、WPA2-PSK の場合は【AES】を選びます。

**13** 2 で控えた事前共有キーを入力して、OK を押します。

文字の入力方法P.2-4

**14** 【設定を適用しますか？】と表示されたら、【はい】を押します。

**15** 本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続されます。

正常に接続された場合は、本製品の画面に【接続しました】と表示されます。

お使いのネットワーク環境によっては、接続に数分かかることがあります。

## 16 接続設定が完了すると、自動的に無線 LAN レポートが印刷されます。

無線 LAN レポートの「Connection」の項目を確認してください。
「Connection:OK」と記載されていたら、正常に接続されました。

「Connection:Failed」と記載されていた場合は、接続に失敗しました。画面表示の内容と合わせて無線 LAN レポートを確認してください。

- 【パスワードが違います】と表示された場合は、停止/終了 を押してください。入力したパスワードが間違っています。2 の情報を確認して 3 から設定し直してください。
- 【接続に失敗しました】と表示された場合は、停止/終了 を押してください。無線 LAN アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を 1m 程度に近づけて、もう一度、3 から設定し直してください。
- 無線 LAN レポートのエラーコード（Error:TS-XX）を確認してください。エラーコードの内容については、別冊の「かんたん設置ガイド」の「困ったときは」をご覧になり、問題を解決してから、もう一度、設定をやり直してください。
- それでも接続できない場合は、⇒「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」P.15-2 をご覧ください。

## 17 ✕ を押します。

設定メニューを完了します。

## WPS/AOSS™

WPS（Wi-Fi Protected Setup）または AOSS™（AirStation One-Touch Secure System：無線 LAN 簡単設定システム）対応の無線 LAN アクセスポイントをお持ちの場合は、アクセスポイントのボタンを押すだけで、本製品の無線 LAN 設定が行えます。
WPS または AOSS™ を使用するには、お使いのルーターや無線 LAN アクセスポイントが、WPS または AOSS™ に対応している必要があります。次のロゴがついているかご確認ください。詳しくは、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

タッチパネルモデルの場合、無線 LAN 接続を行う前は複合機本体と通信ボックスはアドホックモードで接続されています。複合機本体と通信ボックスが接続された状態で、無線 LAN 設定を行ってください。複合機本体と通信ボックスが同時に設定されます。

無線 LAN 設定後に引き続きドライバーとソフトウェアのインストールを行う場合は、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

（液晶ディスプレイモデルの場合）
メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【WPS/AOSS】の順に選び、OK を押します。

DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。

（DCP-J515N の場合）
本製品の「無線 LAN 有効」が【オフ】に設定されていた場合は、「無線 LAN をオンにしますか？」というメッセージが表示されます。OK を押すと、無線 LAN 有効が【オン】に切り替わります。

（DCP-J715N、MFC-J615N の場合）
本製品が有線 LAN に設定されていた場合は、【無線に切替えますか？】というメッセージが表示されます。OK を押すと、無線 LAN に切り替わります。

（タッチパネルモデルの場合）
通信ボックスの電源が入っていることをご確認ください。
【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【WPS/AOSS】の順に押します。
複合機本体と通信ボックスの接続状態を自動的に確認します。
【アクセスポイントの WPS/AOSS ボタンを押してください　操作ができたら OK ボタンを押してください】と表示されたら、無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンまたは AOSS™ ボタンを数秒間押します。
【OK】を押します。

（タッチパネルモデルの場合）
接続が確認できない場合は、【通信ボックスと接続できません　待機画面にある［接続確認］を押して接続を確認してください /OK】と表示されます。OK を押した後、停止/終了 を押して待機画面へ戻り、【接続確認】を押してください。
【通信ボックスと接続できません　通信ボックスの電源を入れてください　もしくは「通信ボックス接続リセット」を行ってください】と表示されたら、再度、通信ボックスの電源が入っているかをご確認ください。

- 通信ボックスの電源が入っていなかった場合
  AC アダプターの電源プラグを確実にコンセントに差し込んで、無線 LAN 設定を最初からやり直してください。
- 通信ボックスの電源が入っていた場合
  「通信ボックス接続リセット」を行い、接続方法をお買い上げ時の状態に戻してから、無線 LAN 設定を最初からやり直してください。
  ⇒「複合機本体と通信ボックスの接続がうまくいかないときは（タッチパネルモデルのみ）」P.15-11

WPS/AOSS™ 機能を使って、無線 LAN アクセスポイントの検索が開始されます。

検索中は最長で 2 分程度、操作ができなくなります。

（液晶ディスプレイモデルの場合）
「無線 LAN 設定中」と表示されたら、無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンまたは AOSS™ ボタンを数秒間押します。

（タッチパネルモデルの場合）
「無線 LAN 設定中」と表示されます。

詳しくは、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
正常に接続された場合は、本製品の画面に【接続しました】と表示されます。

WPS/AOSS™ 機能で接続設定中に本製品の画面に表示されるメッセージと状態をご確認ください。

| 本製品のメッセージ表示と状態 | |
|---|---|
| 無線 LAN 設定中 | 無線 LAN アクセスポイントを検索して、設定をダウンロードしています。 |
| WPS 接続中<br>AOSS 接続中 | 無線 LAN アクセスポイントに接続しています。 |
| 接続しました<br>しばらくお待ちください<br>通信ボックスとの接続を更新しています *1 | 複合機本体の接続設定完了後に、引き続き、通信ボックスとの接続更新を行っています。すべての設定が完了するまで、もうしばらくお待ちください。 |
| 接続しました | 無線 LAN の設定が正常に終了しました。 |
| 接続エラー | WPS/AOSS™ を実行している無線 LAN アクセスポイントが複数見つかりました。無線 LAN アクセスポイントを 1 つにして、もう一度、設定をやり直してください。 |
| アクセスポイントが見つかりません | 無線 LAN アクセスポイントが見つかりませんでした。一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を 1m 程度に近づけて、もう一度、設定をやり直してください。 |
| 接続に失敗しました | 無線 LAN アクセスポイントの接続に失敗しました。もう一度、設定をやり直してください。<br>それでも設定がうまくいかない場合は、ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻して、もう一度、最初から設定をやり直してください。<br>⇒「ネットワーク設定リセット」P.2-7 |

*1 タッチパネルモデルのみ

## 接続設定が完了すると、自動的に無線 LAN レポートが印刷されます。

無線 LAN レポートの「Connection」の項目を確認してください。
「Connection:OK」と記載されていたら、正常に接続されました。

- 無線 LAN レポートに「Connection:Failed」と記載されていた場合は、接続に失敗しました。手順 3 の画面表示の内容と合わせて無線 LAN レポートのエラーコード（Error:TS-XX）を確認してください。エラーコードの内容については、別冊の「かんたん設置ガイド」の「困ったときは」をご覧になり、問題を解決してから、もう一度、設定をやり直してください。
- それでも設定がうまくいかない場合は、⇒「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」P.15-2 をご覧ください。

## OK（液晶ディスプレイモデル）または ✕（タッチパネルモデル）を押します。

設定メニューを完了します。

## WPS（PIN コード）

WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントをお持ちの場合、PIN（Personal Identification Number）コードを入力することで無線 LAN とセキュリティの設定を行うことができます。ここでは、本製品の PIN コードを表示させて確認することができます。
PIN コードを使用してネットワークに本製品を接続するには、お使いのルーターや無線 LAN アクセスポイントが WPS に対応している必要があります。次のロゴがついているかご確認ください。詳しくは、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

タッチパネルモデルの場合、無線 LAN 接続を行う前は複合機本体と通信ボックスはアドホックモードで接続されています。複合機本体と通信ボックスが接続された状態で、無線 LAN 設定を行ってください。複合機本体と通信ボックスが同時に設定されます。

**（液晶ディスプレイモデルの場合）**
**メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【WPS（PIN コード）】の順に選び、OK を押します。**
画面に 8 桁の PIN コードが表示されます。

DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。

（DCP-J515N の場合）
本製品の「無線 LAN 有効」が【オフ】に設定されていた場合、「無線 LAN をオンにしますか？」というメッセージが表示されます。OK を押すと、無線 LAN 有効が【オン】に切り替わります。

（DCP-J715N、MFC-J615N の場合）
本製品が有線 LAN に設定されていた場合は、【無線に切替えますか？】というメッセージが表示されます。OK を押すと、無線 LAN に切り替わります。

**（タッチパネルモデルの場合）**
**通信ボックスの電源が入っていることをご確認ください。**
**【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押します。▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【WPS（PIN コード）】を押します。**
複合機本体と通信ボックスの接続状態を自動的に確認します。
画面に 8 桁の PIN コードが表示されます。

メモ

（タッチパネルモデルの場合）
接続が確認できない場合は、【通信ボックスと接続できません　待機画面にある［接続確認］を押して接続を確認してください /OK】と表示されます。OK を押した後、停止/終了 を押して待機画面へ戻り、【接続確認】を押してください。
【通信ボックスと接続できません　通信ボックスの電源を入れてください　もしくは「通信ボックス接続リセット」を行ってください】と表示されたら、再度、通信ボックスの電源が入っているかをご確認ください。

- 通信ボックスの電源が入っていなかった場合
  AC アダプターの電源プラグを確実にコンセントに差し込んで、無線 LAN 設定を最初からやり直してください。
- 通信ボックスの電源が入っていた場合
  「通信ボックス接続リセット」を行い、接続方法をお買い上げ時の状態に戻してから、無線 LAN 設定を最初からやり直してください。
  ⇒「複合機本体と通信ボックスの接続がうまくいかないときは（タッチパネルモデルのみ）」P.15-11

## 本製品の PIN コードをパソコンから無線 LAN アクセスポイントまたはレジストラへ登録します。

正常に接続された場合は、【接続しました】と表示されます。

- 登録の方法について詳しくは、無線 LAN アクセスポイントまたはレジストラのマニュアルをご覧ください。
- WPS（PIN コード）設定中は最長で 5 分程度、操作ができなくなります。
- （タッチパネルモデルの場合）
  【接続しました しばらくお待ちください　通信ボックスとの接続を更新しています】と表示された場合は、複合機本体の接続設定完了後に、引き続き、通信ボックスとの接続更新を行っています。すべての設定が完了するまで、もうしばらくお待ちください。
- 設定を中止したい場合は、停止/終了（液晶ディスプレイモデル）または、停止/終了（タッチパネルモデル）を押します。

## 接続設定が完了すると、自動的に無線 LAN レポートが印刷されます。

無線 LAN レポートの「Connection」の項目を確認してください。
「Connection:OK」と記載されていたら、正常に接続されました。

無線 LAN レポートに「Connection:Failed」と記載されていた場合は、接続に失敗しました。エラーコード（Error:TS-XX）を確認してください。エラーコードの内容については、別冊の「かんたん設置ガイド」の「困ったときは」をご覧になり、問題を解決してから、もう一度、設定をやり直してください。

## ケーブルで接続して手動で無線 LAN 設定をする（液晶ディスプレイモデルのみ）

- 一時的に接続して設定を行う USB ケーブルまたは LAN ケーブルが必要です。DCP-J515N は、USB ケーブルで行う方法でのみ設定できます。
- 手動設定を行うには、お使いの無線 LAN アクセスポイント（ルーターなど）に設定されている情報が必要です。必ず、無線 LAN アクセスポイントの設定を確認してください。
- 無線 LAN アクセスポイントに設定されている情報は本製品からは調べることができません。お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。それでもわからない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。
- 手順では、Windows® の画面を例に説明しています。
- パーソナルファイアウォールをお使いの場合
  パソコンに、ファイアウォールなどの機能を持つソフトウェアがインストールされている場合は、いったん停止させるか UDP のポート 137 を有効に設定してから、ドライバーのインストールを行ってください。設定方法については、ソフトウェア提供元へご相談ください。
- Windows® のパーソナルファイアウォール機能について
  Windows® で、「インターネット接続ファイアウォール」が有効に設定されている場合は、次の手順で無効にしてから、ドライバーのインストールを行ってください。
  - Windows® XP SP1 の場合
    (1) コントロールパネルから、［ネットワーク接続］をクリックする
    (2) 使用しているネットワークアイコン（ローカルエリア接続など）を右クリックし、［プロパティ］をクリックする
    (3)［詳細設定］タブをクリックする
    (4)「インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制御したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する」のチェックをはずす
    (5) ドライバーのインストールが終わったら、ファイアウォールを有効に戻す
  - Windows® XP SP2 以降の場合
    (1) コントロールパネルから、［セキュリティセンター］をクリックする
    (2)［Windows ファイアウォール］をクリックする
    (3)［無効（推奨されません）］を選んで、［OK］をクリックする
    (4) ドライバーのインストールが終わったら、ファイアウォールを有効に戻す
    ※ ファイアウォールを有効に戻すと、ソフトウェアの一部の機能が利用できなくなります。
    ⇒「セキュリティソフトウェアについて」P.15-6
  - Windows Vista® の場合
    (1) コントロールパネルから、［セキュリティ］をクリックする
    (2)［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックする
    (3)［無効（推奨されません）］を選んで、［OK］をクリックする
    (4) ドライバーのインストールが終わったら、ファイアウォールを有効に戻す
    ※ ファイアウォールを有効に戻すと、ソフトウェアの一部の機能が利用できなくなります。
    ⇒「セキュリティソフトウェアについて」P.15-6
  - Windows® 7 の場合
    (1) コントロールパネルから、「システムとセキュリティ」をクリックする
    (2)「Windows ファイアウォール」をクリックする
    (3)「Windows ファイアウォールの有効化また無効化」をクリックする
    (4)「Windows ファイアウォールを無効にする（推奨されません）」を選んで、［OK］をクリックする
    (5) ドライバーのインストールが終わったら、ファイアウォールを有効に戻す
    ※ ファイアウォールを有効に戻すと、ソフトウェアの一部の機能が利用できなくなります。
    ⇒「セキュリティソフトウェアについて」P.15-6

## USB ケーブルをご使用の場合

**使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、SSID（ネットワーク名）とパスワード（ネットワークキー）を調べて控えておきます。これらは設定手順で必要な情報です。**

SSID は、メーカーによっては ESSID、ESS-ID とも呼ばれています。オープンシステム認証でセキュリティなし（暗号化なし）の場合は、パスワードはありません。

| SSID（ネットワーク名） | |
|---|---|
| パスワード（ネットワークキー）<br>（セキュリティキー、暗号化キーなど） | |

無線 LAN アクセスポイントに複数の WEP キー（WEP キー 1、WEP キー 2、WEP キー 3、WEP キー 4 など）を設定している場合は、WEP キー 1 を控えておきます。本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。

**本製品の電源プラグをコンセントに差し込みます。**

**パソコンの電源を入れます。**

**本製品に付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

（Windows® の場合）

(1) モデルを選ぶ画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

(2)「カスタムインストール」をクリックします。

(3)「無線 LAN 設定ウィザード」をクリックします。

（Macintosh の場合）

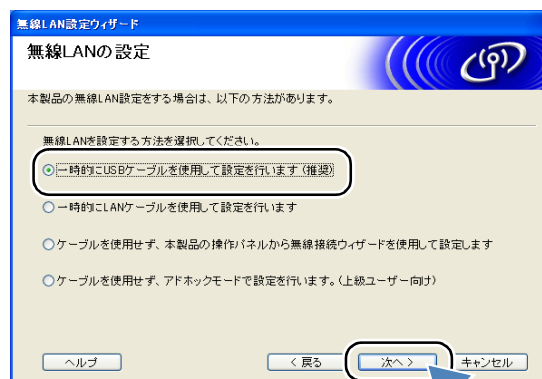
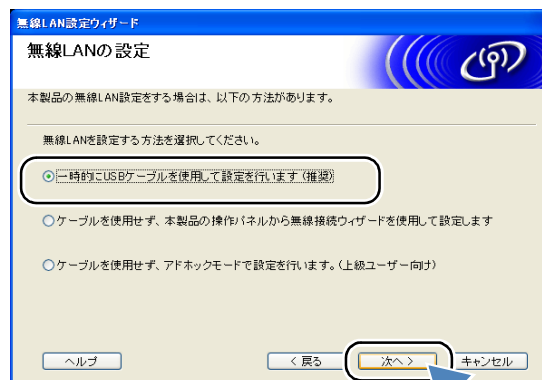
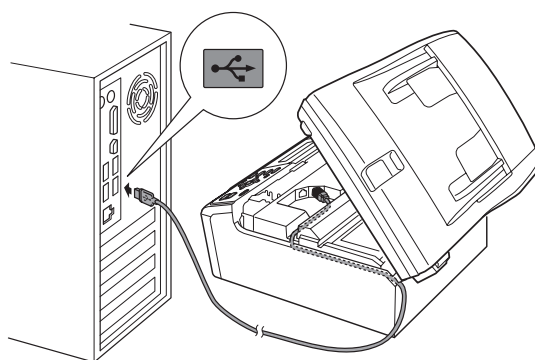
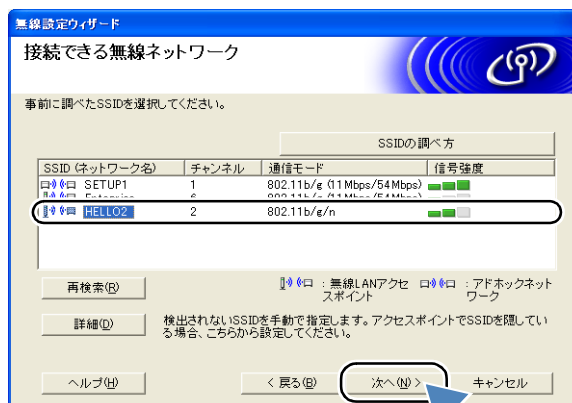
(1)「MFL_PRO Suite」アイコンをダブルクリックします。

(2)「ユーティリティ」フォルダーをダブルクリックします。

(3)「無線 LAN 設定ウィザード」をダブルクリックします。

「自動設定機能を使いません。」を選び、[次へ] をクリックします。

右の画面が表示されたら、内容をご確認ください。SSID とパスワード（ネットワークキー）を確認したら、「確認しました。」をチェックして、[次へ] をクリックします。

「一時的に USB ケーブルを使用して設定を行います（推奨）」を選んで、[次へ] をクリックします。

右の画面が表示されたら、本製品とパソコンを USB ケーブルで接続します。

一覧から本製品を接続する無線 LAN アクセスポイント（ 1 で控えた SSID（ネットワーク名））を選び、［次へ］をクリックします。

- 一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントの電源がオンになっていること、SSID が割り当てられていることを確認してください。さらに、本製品と無線 LAN アクセスポイントが無線通信の範囲内に設置されていることを確認し、［再検索］をクリックしてください。
- 無線 LAN アクセスポイントが SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）に設定されているときは、本製品から自動的に SSID を見つけることができません。その場合は［詳細］をクリックして手動で SSID を追加してください。画面上の指示に従って「SSID（ネットワーク名）」を入力して、［次へ］をクリックします。

認証や暗号化によってセキュリティで保護されていない無線 LAN アクセスポイントを選択した場合は、右の画面が表示されます。セキュリティを設定しないで使用した場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入される恐れがあります。無線 LAN アクセスポイントのセキュリティを設定することをお勧めします。

セキュリティを設定するには、［キャンセル］をクリックして設定を中止します。無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定を行ったあとで、もう一度、設定し直してください。そのまま設定を続けるには［OK］をクリックして 11 へ進みます。

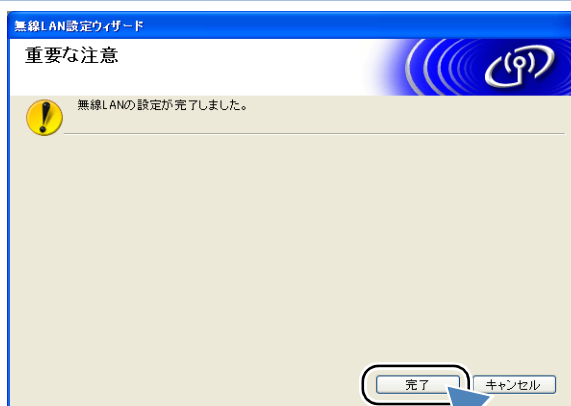
10 本製品が接続する無線 LAN アクセスポイントに設定している 1 で控えたパスワード（ネットワークキー）を入力して、［次へ］をクリックします。

パスワードは大文字や小文字も区別されます。正確に入力してください。

設定を確認し、［次へ］をクリックします。

本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されます。［キャンセル］をクリックすると、設定は無効になります。

- （DCP-J515N の場合）本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されると【無線 LAN 有効】が自動的に【オン】に切り替わります。
- （DCP-J715N、MFC-J615N の場合）本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されると【有線 / 無線切替え】が自動的に【無線 LAN】に切り替わります。
- 接続できなかったときは、接続エラー画面が表示されます。内容を確認して［再設定］をクリックすると、9 に画面が戻ります。もう一度、設定をやり直してください。
- 本製品の IP アドレスを変更する場合は、［IP アドレスの変更］をクリックして手動で設定してください。

パソコンと本製品から USB ケーブルをはずします。

［完了］をクリックします。

以上で、無線 LAN の設定は終了です。引き続き、プリンタードライバーやソフトウェアのインストールを行う場合は、本製品に付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM からインストールを進めてください。
⇒「かんたん設置ガイド」

（Windows® の場合）無線 LAN 接続設定ができないまま、プリンタードライバーなどのインストールを進めると、エラーメッセージが表示されることがあります。本製品を無線 LAN 接続で使用する場合は、設定を完了してからインストールを行ってください。

## LAN ケーブルをご使用の場合（DCP-J715N、MFC-J615N のみ）

### 使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、SSID（ネットワーク名）とパスワード（ネットワークキー）を調べて控えておきます。これらは設定手順で必要な情報です。

SSID は、メーカーによっては ESSID、ESS-ID とも呼ばれています。オープンシステム認証でセキュリティなし（暗号化なし）の場合は、パスワードはありません。

| SSID（ネットワーク名） | |
|---|---|
| パスワード（ネットワークキー）<br>（セキュリティキー、暗号化キーなど） | |

無線 LAN アクセスポイントに複数の WEP キー（WEP キー 1、WEP キー 2、WEP キー 3、WEP キー 4 など）を設定している場合は、WEP キー 1 を控えておきます。本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。

### 本製品の電源プラグをコンセントに差し込みます。

### パソコンの電源を入れます。

### 本製品に付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

（Windows® の場合）

(1) モデルを選ぶ画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

(2)「カスタムインストール」をクリックします。

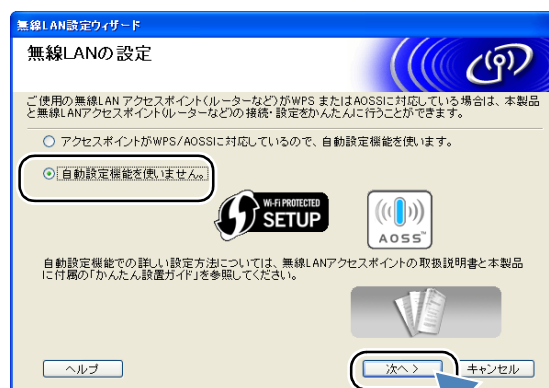
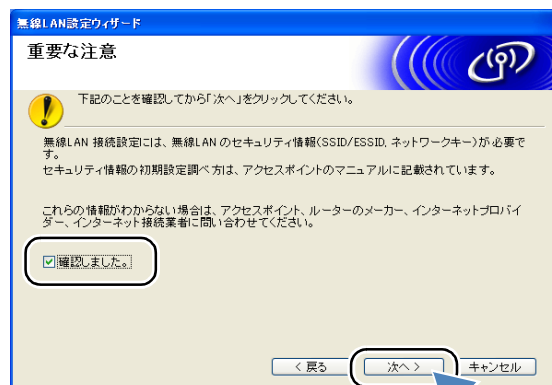
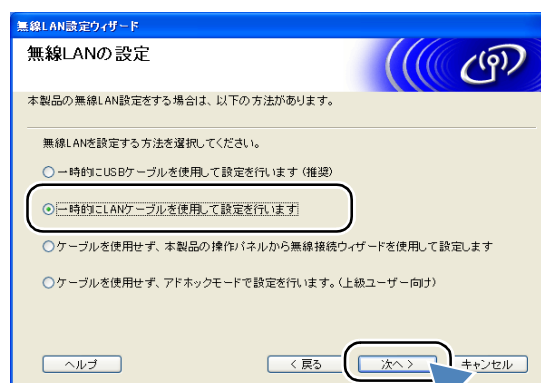
(3)「無線 LAN 設定ウィザード」をクリックします。

（Macintosh の場合）

(1)「MFL_PRO Suite」アイコンをダブルクリックします。

(2)「ユーティリティ」フォルダーをダブルクリックします。

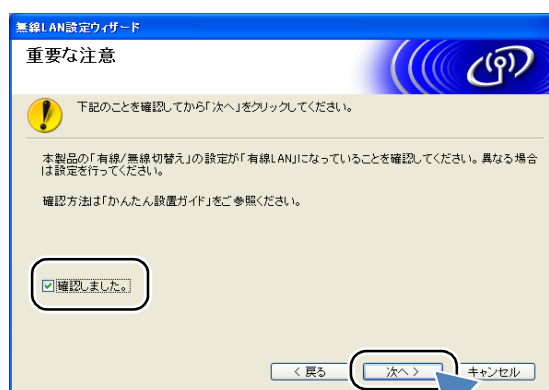
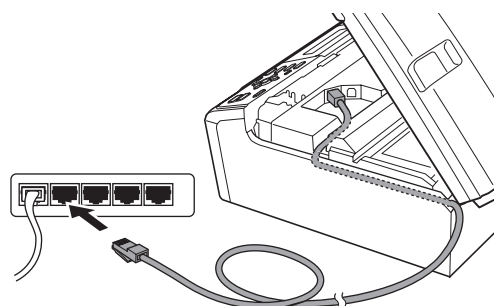
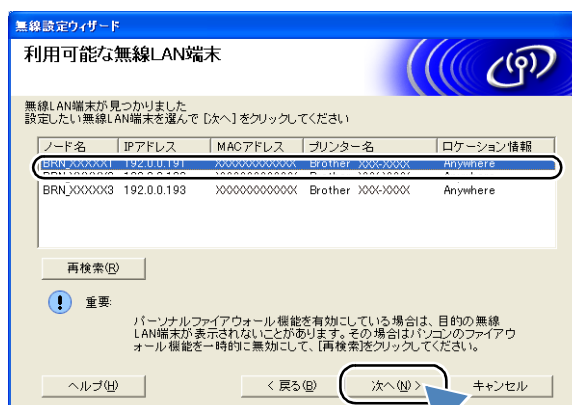
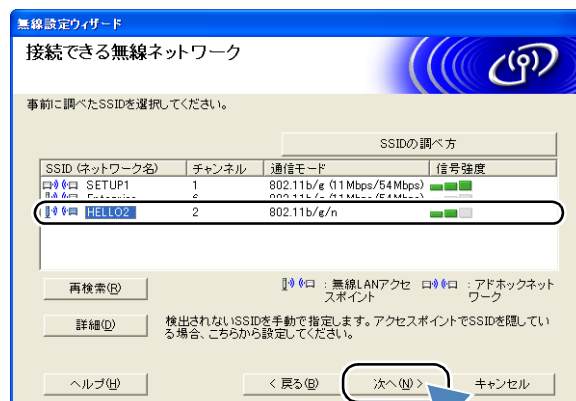
(3)「無線 LAN 設定ウィザード」をダブルクリックします。

## 5 「自動設定機能を使いません。」を選び、［次へ］をクリックします。

右の画面が表示されたら、内容をご確認ください。SSID とパスワード（ネットワークキー）を確認したら、「確認しました。」をチェックして、［次へ］をクリックします。

「一時的に LAN ケーブルを使用して設定を行います」を選んで、［次へ］をクリックします。

右の画面が表示されたら、本製品の【有線 / 無線切替え】設定を確認します。

(1) メニュー を押し、▲/▼【ネットワーク】OK【有線 / 無線切替え】を選び、OK を押す。

(2)【有線 LAN】になっていることを確認して、停止/終了 を押す。

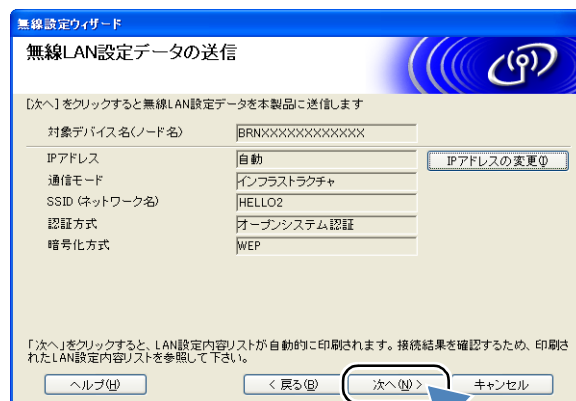
本製品が無線 LAN に設定されていた場合は、▲/▼で【有線 LAN】を選び、OK を押します。

(3)「確認しました。」をチェックして、［次へ］をクリックします。

9 右の画面が表示されたら、本製品と無線 LAN アクセスポイントを LAN ケーブルで接続し、［次へ］をクリックします。

10 一覧から本製品を選び、［次へ］をクリックします。

- お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は「BRNxxxxxxxxxxxx」、無線 LAN の場合は「BRWxxxxxxxxxxxx」です。
- 一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントおよび本製品の電源がオンになっていることを確認して、［再検索］をクリックしてください。
- ネットワーク設定リストを印刷すると、本製品の IP アドレスとノード名を確認できます。
  ⇒「ネットワーク設定リストの出力」P.2-9

一覧から本製品を接続する無線 LAN アクセスポイント（ 1 で控えた SSID（ネットワーク名））を選び、［次へ］をクリックします。

- 一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントの電源がオンになっていること、SSID が割り当てられていることを確認してください。さらに、本製品と無線 LAN アクセスポイントが無線通信の範囲内に設置されていることを確認し、［再検索］をクリックしてください。
- 無線 LAN アクセスポイントが SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）に設定されているときは、本製品から自動的に SSID を見つけることができません。その場合は［詳細］をクリックして手動で SSID を追加してください。画面上の指示に従って「SSID（ネットワーク名）」を入力して、［次へ］をクリックします。

認証や暗号化によってセキュリティで保護されていない無線 LAN アクセスポイントを選択した場合は、右の画面が表示されます。セキュリティを設定しないで使用した場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入される恐れがあります。無線 LAN アクセスポイントのセキュリティを設定することをお勧めします。

セキュリティを設定するには、［キャンセル］をクリックして設定を中止します。無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定を行ったあとで、もう一度、設定し直してください。そのまま設定を続けるには［OK］をクリックして 13 へ進みます。

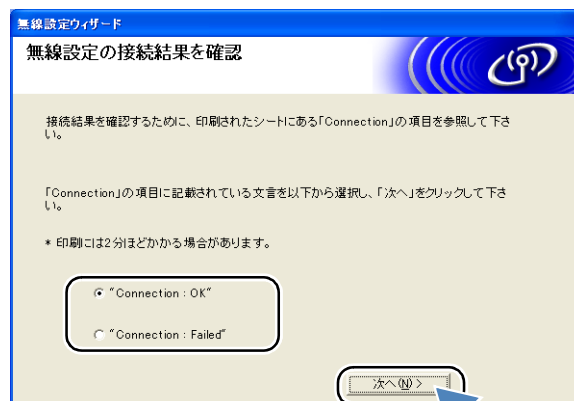
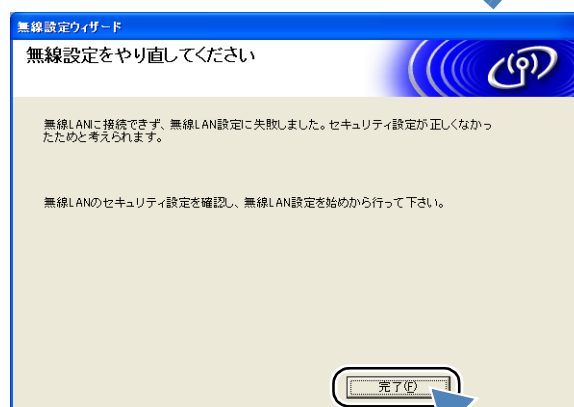
本製品が接続する無線 LAN アクセスポイントに設定している 1 で控えたパスワード（ネットワークキー）を入力して、［次へ］をクリックします。

パスワードは大文字や小文字も区別されます。正確に入力してください。

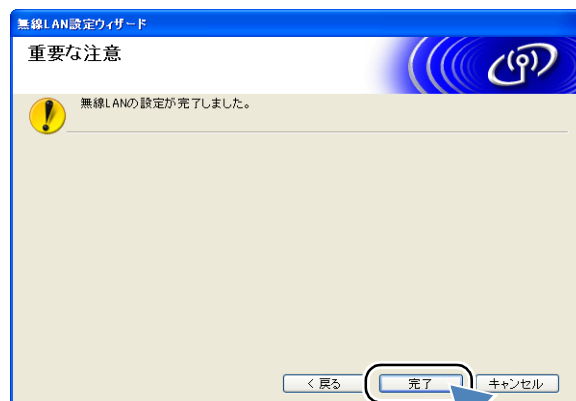
13 設定を確認し、［次へ］をクリックします。

本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されます。［キャンセル］をクリックすると、設定は無効になります。
自動的に無線 LAN レポートが印刷されます。

- 本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されると【有線 / 無線切替え】が自動的に【無線 LAN】に切り替わります。
- 本製品の IP アドレスを変更する場合は、［IP アドレスの変更］をクリックして手動で設定してください。

## 14 印刷された無線 LAN レポートの「Connection」の項目を確認します。どちらかを選択して［次へ］をクリックします。

「Connection:OK」の場合は、15 へ進んでください。

「Connection:Failed」の場合は、無線 LAN に正しく接続できませんでした。［完了］をクリックします。エラーコード（Error:TS-XX）を確認してください。エラーコードの内容については、別冊の「かんたん設置ガイド」の「困ったときは」をご覧になり、問題を解決してから、もう一度、設定をやり直してください。

## 15 無線 LAN アクセスポイントと本製品から LAN ケーブルをはずして、［次へ］をクリックします。

16 ［完了］をクリックします。

以上で、無線 LAN の設定は終了です。引き続き、プリンタードライバーやソフトウェアのインストールを行う場合は、本製品に付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM からインストールを進めてください。

⇒「かんたん設置ガイド」

（Windows® の場合）無線 LAN 接続設定ができないまま、プリンタードライバーなどのインストールを進めると、エラーメッセージが表示されることがあります。本製品を無線 LAN 接続で使用する場合は、設定を完了してからインストールを行ってください。

## 無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用する（WPS/AOSS™）（液晶ディスプレイモデルのみ）

WPS（Wi-Fi Protected Setup）または AOSS™（AirStation One-Touch Secure System：無線 LAN 簡単設定システム）対応の無線 LAN アクセスポイントをお持ちの場合は、アクセスポイントのボタンを押すだけで、本製品の無線 LAN 設定が行えます。
WPS または AOSS™ を使用するには、お使いのルーターや無線 LAN アクセスポイントが、WPS または AOSS™ に対応している必要があります。次のロゴがついているかご確認ください。詳しくは、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

手順では、Windows® の画面を例に説明しています。

（DCP-J515N の場合）

メニュー を押し、▲/▼【ネットワーク】OK【無線 LAN 有効】を選び、OK を押します。

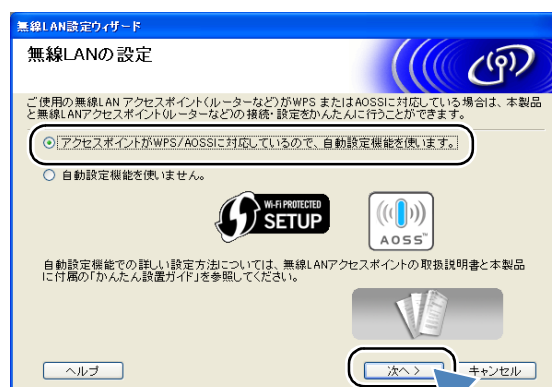
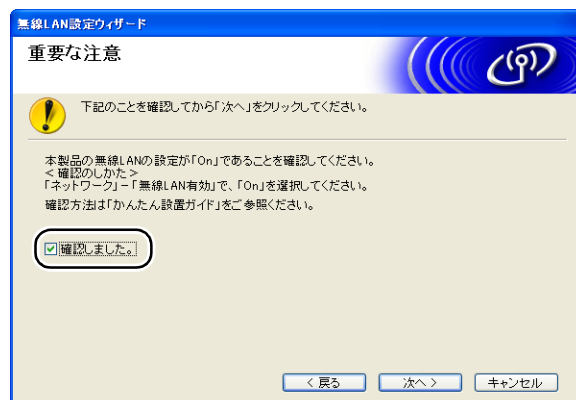
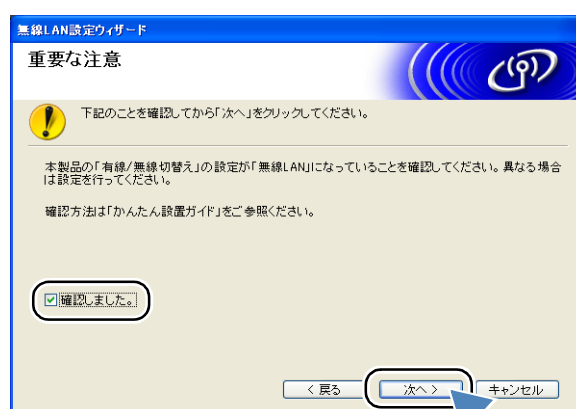
▲/▼で【オン】を選び、OK を押します。

（DCP-J715N、MFC-J615N の場合）

メニュー を押し、▲/▼【ネットワーク】OK【有線 / 無線切替え】を選び、OK を押します。

▲/▼で【無線 LAN】を選び、OK を押します。

「ケーブルで接続して手動で無線 LAN 設定をする（液晶ディスプレイモデルのみ）」P.4-25 の 2 ～ 4 を行います。

「アクセスポイントが WPS/AOSS に対応しているので、自動設定機能を使います。」を選び、［次へ］をクリックします。

（DCP-J515N の場合）
右の画面が表示されたら、内容をご確認ください。「確認しました。」をチェックして、［次へ］をクリックします。

（DCP-J715N、MFC-J615N の場合）
右の画面が表示されたら、本製品の【有線 / 無線切替え】が【無線 LAN】になっていることを確認します。「確認しました。」をチェックして、［次へ］をクリックします。

メニュー を押し、▲/▼【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【WPS/AOSS】の順に選んで、OK を押します。
WPS/AOSS™ 機能を使って、無線 LAN アクセスポイントの検索が開始されます。

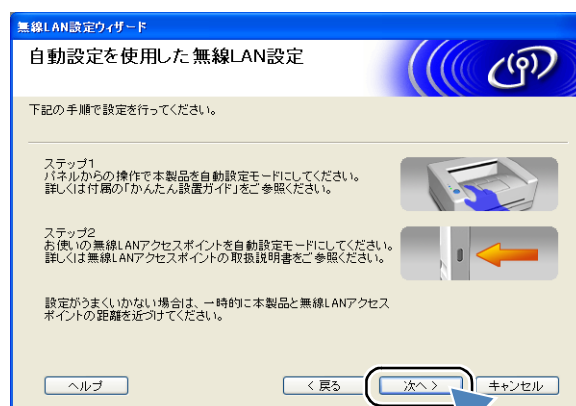
- DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。
- 検索中は最長で 2 分程度、操作ができなくなります。

## 無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンまたは AOSS™ ボタンを押します。

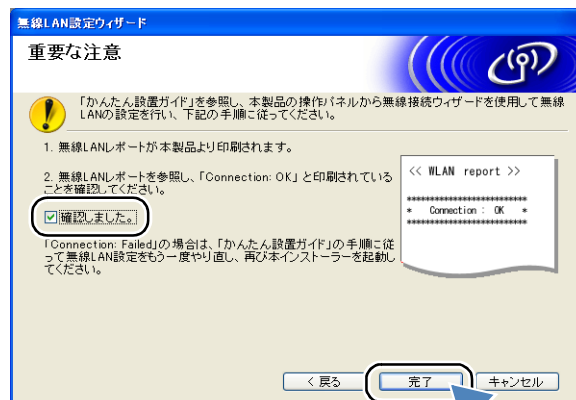
詳しくは、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
正常に接続されると本製品の画面に【接続しました】と表示されます。

- WPS/AOSS™ 機能で接続中に本製品の画面に表示されるメッセージと状態をご確認ください。

| 本製品のメッセージ表示と状態 | |
|---|---|
| 無線 LAN 設定中 | 無線 LAN アクセスポイントを検索して、設定をダウンロードしています。 |
| WPS 接続中<br>AOSS 接続中 | 無線 LAN アクセスポイントに接続しています。 |
| 接続しました | 無線 LAN の設定が正常に終了しました。 |
| 接続エラー | WPS/AOSS™ を実行している無線 LAN アクセスポイントが複数見つかりました。無線 LAN アクセスポイントを 1 つにして、もう一度、5 から設定をやり直してください。 |
| アクセスポイントが見つかりません | 無線 LAN アクセスポイントが見つかりませんでした。一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を 1m 程度に近づけて、もう一度、5 から設定をやり直してください。 |
| 接続に失敗しました | 無線 LAN アクセスポイントの接続に失敗しました。もう一度、設定をやり直してください。<br>それでも設定がうまくいかない場合は、ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻して、もう一度、最初から設定をやり直してください。<br>⇒「ネットワーク設定リセット」P.2-7 |

- 設定がうまくいかない場合は、⇒「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」P.15-2 をご覧ください。

## ［次へ］をクリックします。

### 「確認しました。」をチェックして［完了］をクリックします。

接続設定が完了すると、自動的に無線 LAN レポートが印刷されます。「Connection」の項目を確認してください。「Connection:OK」と記載されていたら、正常に接続されました。

無線 LAN レポートに「Connection:Failed」と記載されていたら、接続に失敗しました。エラーコード（Error:TS-XX）を確認してください。エラーコードの内容については、別冊の「かんたん設置ガイド」の「困ったときは」をご覧になり、問題を解決してから、もう一度、設定をやり直してください。

以上で、無線 LAN の設定は終了です。引き続き、プリンタードライバーやソフトウェアのインストールを行う場合は、本製品に付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM からインストールを進めてください。

⇒「かんたん設置ガイド」

# TCP/IP の設定

TCP/IP を使用して印刷するには、本製品に IP アドレスを設定します。
パソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルーターの先に本製品が接続されている場合は、ルーターのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。

DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、TCP/IP の各項目は自動的に設定されます。
それらの機能を使用しないで手動で IP アドレスを設定する場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように「IP 取得方法」を【Static】に設定してください。
⇒「IP 取得方法」P.4-46

このメニューは次の項目で構成されています。

- **IP** 取得方法
- **IP** アドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイ
- ノード名
- **WINS** 設定
- **WINS** サーバ
- **DNS** サーバ
- **APIPA**（液晶ディスプレイモデルのみ）

**TCP/IP を設定するほかの方法**

- BRAdmin Light を使用する（液晶ディスプレイモデルのみ）
  Windows® の場合⇒「ネットワークインターフェースを設定する」P.9-1
  Macintosh の場合⇒「ネットワークインターフェースを設定する」P.14-1
- そのほかの設定方法⇒「IP アドレスの設定方法」P.16-2

設定の変更は、リモートセットアップ（MFC モデルのみ）でも行うことができます。
Windows® の場合⇒「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.8-1
Macintosh の場合⇒「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.13-1

## IP 取得方法

IP アドレスの取得方法を設定します。

### 液晶ディスプレイモデルの場合

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【IP 取得方法】の順に選びます。

DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。

**2** ◀/▶ で【Auto】、【Static】、【RARP】、【BOOTP】または【DHCP】を選び、OK を押します。

IP アドレス取得方法が設定されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。

**3** 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

### タッチパネルモデルの場合

【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【TCP/IP】、【IP 取得方法】の順に押します。

【Auto】、【Static】、【RARP】、【BOOTP】または【DHCP】を押します。

IP アドレス取得方法が設定されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Static】です。

ネットワークの利用を開始すると、自動的に【DHCP】に切り替わります。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

## 通信ボックスの場合

機能/確定 を押し、▼/▲で【3. ネットワーク】を選び、機能/確定【1.IP　シュトク ホウホウ】を選んで、機能/確定 を押します。

▼/▲で【Auto】、【Static】、【RARP】、【BOOTP】または【DHCP】を選び、機能/確定 を押します。

IP アドレス取得方法が設定されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Static】です。

ネットワークの利用を開始すると、自動的に【DHCP】に切り替わります。

停止 を押します。

設定メニューを終了します。

# IP アドレス

本製品の現在の IP アドレスを確認できます。「IP 取得方法」で【Static】以外の取得方法が選ばれている場合は、RARP、BOOTP または DHCP のプロトコルを使用して IP アドレスを自動的に取得します。
IP アドレスを変更すると、「IP 取得方法」は自動的に【Static】に変わります。
⇒「IP 取得方法」P.4-46

## 液晶ディスプレイモデルの場合

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【IP アドレス】の順に選びます。

本製品の現在の IP アドレスが表示されます。

DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。

変更する場合は、IP アドレスを入力して、OK（MFC モデルの場合）または セット を選んで OK（DCP モデルの場合）を押します。

IP アドレスが登録されます。
文字の入力方法P.2-4
例）192.168.001.003

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

## タッチパネルモデルの場合

【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【TCP/IP】、【IP アドレス】の順に押します。

本製品の現在の IP アドレスが表示されます。

変更する場合は、IP アドレスを入力して、OK を押します。

IP アドレスが登録されます。

文字の入力方法 P.2-4

例）192.168.001.003

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

## 通信ボックスの場合

機能/確定 を押し、▼ / ▲ で【3. ネットワーク】を選び、機能/確定【2.IP　アドレス】を選んで、機能/確定 を押します。

本製品の現在の IP アドレスが表示されます。

すでに IP アドレスが設定されている場合は、【XXX.XXX.XXX.XXX】と【ヘンコウ　▼　スル　▲　シナイ】が交互に表示されます。変更する場合は、▼（スル）を押してください。

変更する場合は、IP アドレスを入力して、機能/確定 を押します。

IP アドレスが登録されます。

文字の入力方法 P.2-4

例）192.168.001.003

192 機能/確定 168 機能/確定 001 機能/確定 003 と、3 桁入力したら 機能/確定 を押します。

続けて【3. ネットワーク】のほかの項目を設定する場合は、▼ / ▲ で設定したい項目に移動できます。

停止 を押します。

設定メニューを終了します。

## サブネットマスク

本製品の現在のサブネットマスクを確認できます。RARP、BOOTP、DHCP または APIPA 機能を使用していない場合は、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

### 液晶ディスプレイモデルの場合

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【サブネット マスク】の順に選びます。

本製品の現在のサブネットマスクが表示されます。

DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。

変更する場合は、サブネットマスクを入力して、OK（MFC モデルの場合）または セット を選んで OK（DCP モデルの場合）を押します。

サブネットマスクが登録されます。

文字の入力方法P.2-4

例）255.255.255.0

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

## タッチパネルモデルの場合

**【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【TCP/IP】、【サブネットマスク】の順に押します。**

本製品の現在のサブネットマスクが表示されます。

**変更する場合は、サブネットマスクを入力して、OK を押します。**

サブネットマスクが登録されます。

文字の入力方法P.2-4

例）255.255.255.0

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

**停止/終了 を押します。**

設定メニューを終了します。

## 通信ボックスの場合

**機能/確定 を押し、▼⏮ / ▲⏭ で【3. ネットワーク】を選び、機能/確定【3. サブネット　マスク】を選んで、機能/確定 を押します。**

本製品の現在のサブネットマスクが表示されます。

すでにサブネットマスクが設定されている場合は、【XXX.XXX.XXX.XXX】と【ヘンコウ　▼　スル　▲　シナイ】が交互に表示されます。変更する場合は、▼⏮（スル）を押してください。

**変更する場合は、サブネットマスクを入力して、機能/確定 を押します。**

サブネットマスクが登録されます。

文字の入力方法P.2-4

例）255.255.255.0

255 機能/確定 255 機能/確定 255 機能/確定 0 と、3 桁入力したら 機能/確定 を押します。

続けて【3. ネットワーク】のほかの項目を設定する場合は、▼⏮ / ▲⏭ で設定したい項目に移動できます。

**停止 を押します。**

設定メニューを終了します。

## ゲートウェイ

本製品の現在のゲートウェイ（ルーター）のアドレスを確認できます。RARP、BOOTP、DHCP または APIPA 機能を使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイ（ルーター）を使用しない場合は、お買い上げ時の設定（初期値）【000.000.000.000】にしておいてください。アドレスがわからない場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

### 液晶ディスプレイモデルの場合

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【ゲートウェイ】の順に選びます。

本製品の現在のゲートウェイアドレスが表示されます。

DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。

変更する場合は、ゲートウェイアドレスを入力して、OK（MFC モデルの場合）または セット を選んで OK（DCP モデルの場合）を押します。

ゲートウェイアドレスが登録されます。

文字の入力方法P.2-4

例）192.168.001.001

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

## タッチパネルモデルの場合

【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【TCP/IP】の順に押します。

▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【ゲートウェイ】を押します。

本製品の現在のゲートウェイアドレスが表示されます。

**3** 変更する場合は、ゲートウェイアドレスを入力して、OK を押します。

ゲートウェイアドレスが登録されます。
文字の入力方法P.2-4
例）192.168.001.001

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

## 通信ボックスの場合

機能/確定 を押し、▼ / ▲ で【3. ネットワーク】を選び、機能/確定【4. ゲートウェイ】を選んで、機能/確定 を押します。

本製品の現在のゲートウェイアドレスが表示されます。
すでにゲートウェイが設定されている場合は、【XXX.XXX.XXX.XXX】と【ヘンコウ ▼ スル ▲ シナイ】が交互に表示されます。変更する場合は、▼（スル）を押してください。

変更する場合は、ゲートウェイアドレスを入力して、機能/確定 を押します。

ゲートウェイアドレスが登録されます。
文字の入力方法P.2-4
例）192.168.001.001

192 機能/確定 168 機能/確定 001 機能/確定 001 と、3 桁入力したら 機能/確定 を押します。

続けて【3. ネットワーク】のほかの項目を設定する場合は、▼ / ▲ で設定したい項目に移動できます。

停止 を押します。

設定メニューを終了します。

# ノード名

ノード名をネットワークで使用するために登録します（WINS サーバーに登録されている NetBIOS 名になります）。お買い上げ時の設定（初期値）は、【BRWxxxxxxxxxxxx】（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）です。ノード名を変更する場合は、15 文字以内で設定してください。

- 通信ボックスでは、このメニューは表示されません。
- 設定の変更は、リモートセットアップ（MFC モデルのみ）でも行うことができます。
  Windows® の場合⇒「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.8-1
  Macintosh の場合⇒「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.13-1

## 液晶ディスプレイモデルの場合

**メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【ノード名】の順に選びます。**

本製品の現在のノード名が表示されます。

DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。

**変更する場合は、ノード名を入力して、OK（MFC モデルの場合）または セット を選んで OK（DCP モデルの場合）を押します。**

ノード名が登録されます。

文字の入力方法P.2-4

例）BRWxxxxxxxxxxxx（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字です。）

最大 15 文字まで入力できます。

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

**停止/終了 を押します。**

設定メニューを終了します。

## タッチパネルモデルの場合

【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【TCP/IP】の順に押します。

▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【ノード名】を押します。

本製品の現在のノード名が表示されます。

変更する場合は、ノード名を入力して、OK を押します。

ノード名が登録されます。
文字の入力方法P.2-4
例）BRWxxxxxxxxxxxx（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字です。）
最大 15 文字まで入力できます。

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

# WINS 設定

WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバーアドレスの取得方法を設定します。

## Auto

DHCP サーバーからプライマリ、セカンダリの WINS サーバーアドレスを自動的に取得します。
「IP 取得方法」が【Auto】に設定されている必要があります。
⇒「IP 取得方法」P.4-46

## Static

手動で WINS サーバーアドレスを設定します。

通信ボックスでは、このメニューは表示されません。

## 液晶ディスプレイモデルの場合

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【WINS 設定】の順に選びます。

DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。

◀/▶ で【Auto】、【Static】のどちらかを選び、OK を押します。

WINS 設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、クリア を押したあと、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

### タッチパネルモデルの場合

【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【TCP/IP】の順に押します。

▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【WINS 設定】を押します。

【Auto】または【Static】を押します。

WINS 設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

# WINS サーバ

WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバーのアドレスを設定します。

**プライマリ**

この項目でプライマリ WINS サーバーの IP アドレスを登録します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS サーバーにノード名を登録します。

**セカンダリ**

この項目でセカンダリ WINS サーバーの IP アドレスを登録します。セカンダリ WINS サーバーはプライマリ WINS サーバーの機能の一部を補完し、プライマリサーバーが見つからないときに機能します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS サーバーにノード名を登録します。
ネットワーク内にセカンダリ WINS サーバーが存在しない場合は入力しなくても構いません。

通信ボックスでは、このメニューは表示されません。

## 液晶ディスプレイモデルの場合

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【WINS サーバ】の順に選び、OK を押します。

DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。

▲/▼ で【プライマリ】または【セカンダリ】を選びます。

WINS サーバーのアドレスを入力して、OK（MFC モデルの場合）または セット を選んで OK（DCP モデルの場合）を押します。

WINS サーバーのアドレスが登録されます。
文字の入力方法P.2-4
お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、クリア を押したあと、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

## タッチパネルモデルの場合

【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【TCP/IP】の順に押します。

▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【WINS サーバ】を押します。

【プライマリ】または【セカンダリ】を押します。

WINS サーバーのアドレスを入力して、OK を押します。

WINS サーバーのアドレスが登録されます。

文字の入力方法P.2-4

お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、 を押したあと、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

## DNS サーバ

DNS（ドメインネームシステム）サーバーのアドレスを設定します。

**●プライマリ**

プライマリ DNS サーバーのアドレスを指定します。

**●セカンダリ**

セカンダリ DNS サーバーのアドレスを指定します。セカンダリ DNS サーバーはプライマリ DNS サーバーの機能の一部を補完し、プライマリサーバーが見つからない場合に機能します。
ネットワークの負荷が大きい場合に設定してください。

通信ボックスでは、このメニューは表示されません。

### 液晶ディスプレイモデルの場合

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【DNS サーバ】の順に選びます。

DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。

▲/▼ で【プライマリ】または【セカンダリ】を選びます。

DNS サーバーのアドレスを入力して、OK（MFC モデルの場合）または セット を選んで OK（DCP モデルの場合）を押します。

DNS サーバーのアドレスが登録されます。
文字の入力方法P.2-4
お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、クリア を押したあと、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

## タッチパネルモデルの場合

【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【TCP/IP】の順に押します。

▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【DNS サーバ】を押します。

【プライマリ】または【セカンダリ】を押します。

DNS サーバーのアドレスを入力して、OK を押します。

DNS サーバーのアドレスが登録されます。
文字の入力方法 P.2-4
お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、 を押したあと、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

## APIPA（液晶ディスプレイモデルのみ）

IP アドレス配布サーバー（DHCP、BOOTP、RARP など）を利用していない場合でも、「APIPA」（AutoIP）を【オン】に設定しておくと、本製品に IP アドレスを自動的に割り当てます。
このとき、IP アドレスは 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で割り当てられます。この機能を使用しないときは【オフ】に設定してください。
割り当てられた IP アドレスがお使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light や操作パネルから IP アドレスを変更してください。
⇒「IP アドレスの設定方法」P.16-2

メニューを押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【APIPA】の順に選びます。

DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。

◀/▶で【オン】または【オフ】を選び、OKを押します。

APIPA の設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【オン】です。

続けて【TCP/IP】のほかの項目を設定する場合は、▲/▼で設定したい項目に移動できます。

停止/終了を押します。

設定メニューを終了します。

# 無線 LAN の状態表示

無線 LAN をお使いの場合、ネットワーク設定や状況を確認できます。

## 接続状態

接続状態を表示します。

### 液晶ディスプレイモデルの場合

メニューを押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【無線状態】OK【接続状態】の順に選び、OKを押します。

DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。

現在の接続状態が表示されます。【アクティブ（11b)】、【アクティブ（11g)】または【AOSS アクティブ】と表示されているときは、正常に接続されています。

停止/終了を押します。

設定メニューを終了します。

### タッチパネルモデルの場合

【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押します。

▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【無線状態】を押して、【接続状態】を表示させます。

現在の接続状態が表示されます。【アクティブ（11b)】、【アクティブ（11g)】または【AOSS アクティブ】と表示されているときは、正常に接続されています。

停止/終了を押します。

設定メニューを終了します。

## 通信ボックスの場合

**機能/確定 を押し、▼⏮/▲⏭ で【3. ネットワーク】を選び、機能/確定【5. ムセン　ジョウタイ】機能/確定【1. セツゾク　ジョウタイ】の順に選び、機能/確定 を押します。**

現在の接続状態が表示されます。【アクティブ（11b)】、【アクティブ（11g)】または【AOSS アクティブ】と表示されているときは、正常に接続されています。

**停止 を押します。**

設定メニューを終了します。

## 電波状態

電波状態を表示します。

### 液晶ディスプレイモデルの場合

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【無線状態】OK【電波状態】の順に選び、OK を押します。

DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。

現在の電波の状態（強さ）が表示されます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

### タッチパネルモデルの場合

【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押します。

▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【無線状態】を押して、【電波状態】を表示させます。

現在の電波の状態（強さ）が表示されます。

停止 を押します。

設定メニューを終了します。

### 通信ボックスの場合

機能/確定 を押し、▼ / ▲ で【3. ネットワーク】を選び、機能/確定【5. ムセン　ジョウタイ】機能/確定【2. デンパ　ジョウタイ】の順に選び、機能/確定 を押します。

現在の電波の状態（強さ）が表示されます。

停止 を押します。

設定メニューを終了します。

## SSID

SSID を表示します。

### 液晶ディスプレイモデルの場合

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【無線状態】OK【SSID】の順に選び、OK を押します。

DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。

SSID が表示されます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

### タッチパネルモデルの場合

【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押します。

▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【無線状態】を押して、【SSID】を表示させます。

SSID が表示されます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

### 通信ボックスの場合

機能/確定 を押し、▼/▲ で【3. ネットワーク】を選び、機能/確定【5. ムセン　ジョウタイ】機能/確定【3.SSID】の順に選び、機能/確定 を押します。

SSID が表示されます。

停止 を押します。

設定メニューを終了します。

## 通信モード

通信モードを表示します。

### 液晶ディスプレイモデルの場合

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【無線状態】OK【通信モード】の順に選び、OK を押します。

DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。

現在の通信モード（【アドホック】または【インフラストラクチャ】）が表示されます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

### タッチパネルモデルの場合

【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押します。

▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【無線状態】を押します。

▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【通信モード】を表示させます。

現在の通信モード（【アドホック】または【インフラストラクチャ】）が表示されます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

## 通信ボックスの場合

**機能/確定 を押し、▼ ⏮ / ▲ ⏭ で【3. ネットワーク】を選び、機能/確定【5. ムセン　ジョウタイ】機能/確定【4. ツウシン　モード】の順に選び、機能/確定 を押します。**

現在の通信モード（【アドホック】または【インフラストラクチャ】）が表示されます。

**停止 を押します。**

設定メニューを終了します。

# その他の設定

## MAC アドレス

本製品の現在の MAC アドレスを確認できます。MAC アドレスは、本製品のネットワークインターフェースに割り当てられたアドレス番号です。MAC アドレスは変更できません。

### 液晶ディスプレイモデルの場合

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【MAC アドレス】の順に選び、OK を押します。

DCP-J515N では【無線 LAN】は表示されません。

本製品の MAC アドレスが確認できます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

### タッチパネルモデルの場合

【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押します。

▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【MAC アドレス】を表示させます。

本製品の MAC アドレスが確認できます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

### 通信ボックスの場合

機能/確定 を押し、▼ / ▲ で【3. ネットワーク】を選び、機能/確定【6.MAC アドレス】を選んで、機能/確定 を押します。

通信ボックスの MAC アドレスが確認できます。

停止 を押します。

設定メニューを終了します。

# Windows® 編

# 第 5 章 ネットワークプリンターとして使う

## 概要

別冊の「かんたん設置ガイド」の手順に従ってドライバーのインストールを進めると、自動的にネットワークプリンターの設定が完了します。

プリンタードライバーのインストールが完了している場合
⇒「プリンタードライバーがインストール済みの場合」P.5-5
インストーラーを使わずにプリンタードライバーのみインストールする場合
⇒「プリンタードライバーをインストールする」P.5-3

# プリンタードライバーをインストールする

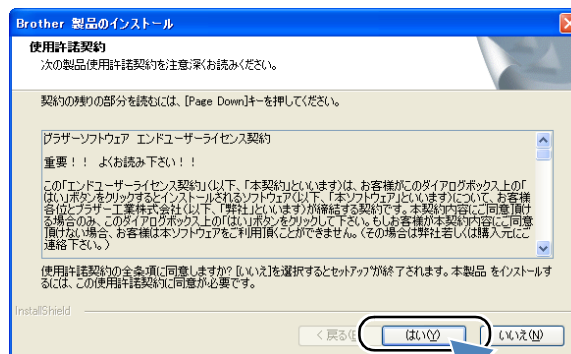
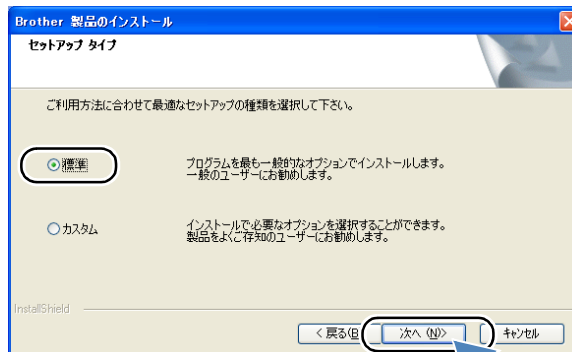
プリンタードライバーのみをインストールする場合は、次の手順で設定してください。

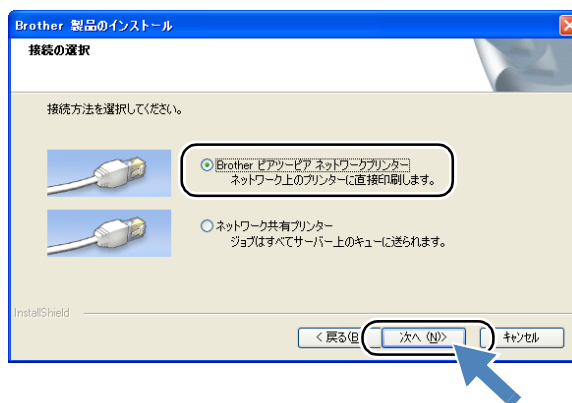
**本製品に付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

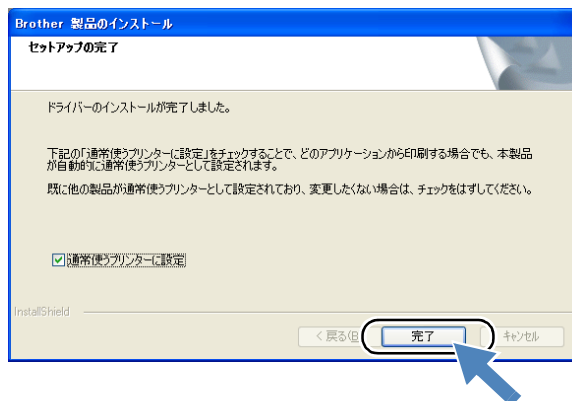
モデル名を選ぶ画面が表示されたときは、モデル名をクリックします。
画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

**「カスタムインストール」をクリックします。**

**「プリンタードライバー（ネットワーク対応のみ）」をクリックします。**

**使用許諾契約の内容を確認し、［はい］をクリックします。**

「標準」を選び、［次へ］をクリックします。

「Brother ピアツーピア ネットワークプリンター」を選び、［次へ］をクリックします。

［完了］をクリックします。

プリンタードライバーのインストールが完了します。

## プリンタードライバーがインストール済みの場合

すでにパソコンにプリンタードライバーがインストールされている場合は、次の手順で TCP/IP ポートの追加と本製品の関連付けを行います。

コントロールパネルのプリンターフォルダを表示します。

- Windows® 7 の場合
  [ スタート ] メニューから [ デバイスとプリンター ] − [ プリンターと FAX] の順にクリックします。
- Windows Vista® の場合
  ［スタート］メニューから［コントロールパネル］ − ［プリンタ］の順にクリックします。
- Windows® XP の場合
  ［スタート］メニューから［コントロールパネル］ − ［プリンタとその他のハードウェア］ − ［プリンタと FAX］の順にクリックします。
- Windows® 2000 の場合
  ［スタート］メニューから［設定］ − ［プリンタ］の順にクリックします。

プリンターの［プロパティ］を表示します。

- Windows® 7 の場合
  設定するプリンターを選択し、右クリックして表示されるメニューから、［プリンターのプロパティ］を選びます。
- Windows Vista® の場合
  設定するプリンターを選択し、右クリックして表示されるメニューから、［プロパティ］を選びます。
- Windows® 2000/XP の場合
  設定するプリンターをクリックして、［ファイル］メニューの［プロパティ］を選びます。

［ポート］タブの［ポートの追加］をクリックします。

［Standard TCP/IP Port］を選び、［新しいポート］をクリックします。

- Windows® 7 の場合
  「標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザード」が表示されます。
- Windows Vista®、Windows® XP、Windows® 2000 の場合
  「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。

画面の指示に従って、TCP/IP ポートの追加と関連付けを行ってください。

# その他のプリンタードライバーのインストール方法

## Web Services を使用する（Windows Vista®、Windows® 7 のみ）

Windows Vista®、Windows® 7 の場合は、Web Services を利用してプリンタードライバーをインストールすることができます。

Web Services を利用する場合は、次のどちらかの設定状態になっていることを確認してください。
- ホストコンピューターと本製品が同じサブネット上にある。
- ルーターが 2 つのデバイス間で正しくデータのやり取りができるように設定されている。

本製品に付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM ドライブ内の本製品のプリンタードライバーの保存フォルダーを選択し、DPInst.exe をダブルクリックします。
- 32bit の場合
  X:￥install￥driver￥gdi￥32￥jpn（X は CD-ROM ドライブ）
- 64bit の場合
  X:￥install￥driver￥gdi￥64￥jpn（X は CD-ROM ドライブ）

（Windows® 7 の場合）
［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークのコンピューターとデバイスの表示］をクリックします。
（Windows Vista® の場合）
［スタート］メニューから［ネットワーク］をクリックします。

本製品の Web Services 名がアイコンと合わせて表示されます。

本製品の Web Services 名は、モデル名と MAC アドレス（イーサネットアドレス）です。
例）Brother MFC-XXXX［XXXXXXXXXXXX］

本製品を選択し、右クリックして表示されるメニューから「インストール」をクリックします。
インストールが開始されます。

# 第 6 章 ネットワークスキャン機能を使う

## ネットワークスキャン機能とは

本製品でスキャンしたデータを、ネットワーク上のパソコンへ送ったり保存したりできる機能です。

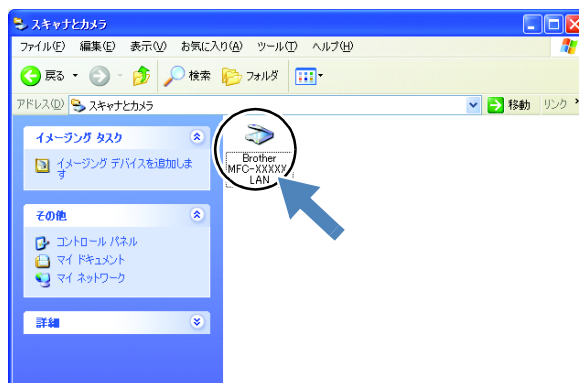
あらかじめ本製品の TCP/IP の設定が必要です。

## ネットワークスキャンの設定

本製品のスキャンボタンを押してネットワークスキャン機能を使う場合は、スキャンしたデータを保存するパソコンの名称（コンピューター名）をあらかじめ登録する必要があります。初期設定では、スキャンしたデータは別冊の「かんたん設置ガイド」に記載されているインストール作業を行ったパソコンに保存されます。このまま使用する場合は設定する必要はありません。
IP アドレスを変更したり、登録したパソコンの名前を変える場合には、次の手順で設定してください。
ネットワークスキャン機能の詳細な説明については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「スキャナーとして使う前に」

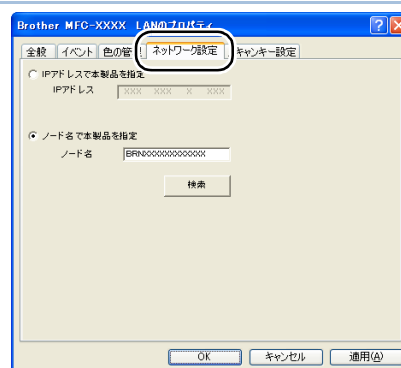
**コントロールパネルの［スキャナとカメラ］を表示します。**

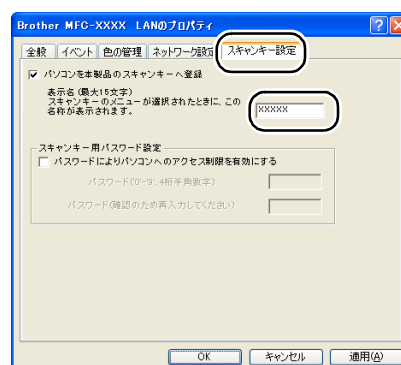
- Windows® 7 の場合
  ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［スキャナー設定］－［スキャナーとカメラ］をクリックします。
- Windows Vista® の場合
  ［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［スキャナとカメラ］をクリックします。
- Windows® XP の場合
  ［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［スキャナとカメラ］をクリックします。
- Windows® 2000 の場合
  ［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］－［スキャナとカメラ］をクリックします。

**接続している本製品のモデル名をクリックして選びます。**

### [プロパティ]ダイアログボックスを表示します。

- Windows® 7、Windows Vista® の場合
  [プロパティ]をクリックします。
- Windows® XP、Windows® 2000 の場合
  右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]を選びます。

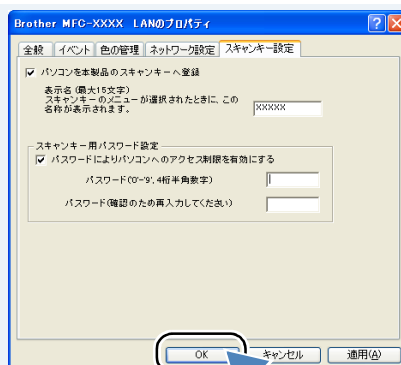
### [ネットワーク設定]タブをクリックし、項目を設定します。

- IP アドレスを変更する場合は、新しい IP アドレスを入力します。
- 本製品の名称を変更する場合は、「ノード名」に新しい名称を入力します。
- 使用できる機器の一覧を検索してから設定する場合は、[検索]をクリックして該当する製品名を探すこともできます。

### [スキャンキー設定]タブをクリックし、データを保存するパソコンの名称を入力します。

初期設定はお使いのパソコンの名称が表示されています。
操作パネルのスキャンボタンを操作するときに、本製品の画面に表示されるこのパソコンの名称です。パソコンの名称は、マイコンピュータのプロパティ画面で確認できます。

### [OK]をクリックします。

設定が完了しました。

**スキャンした画像データの保存に制限をつけたいときは**

スキャンした画像データをパソコンに保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。
「スキャンキー用パスワード設定」で 4 桁の数字をパスワードとして登録します。

# 第 7 章 ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う

この機能は、型番の先頭に「MFC」がついている機種のみご利用になれます。

## ネットワーク PC-FAX 送信機能とは

PC-FAX 機能を利用すると、パソコン上のアプリケーションで作成したデータを、ネットワーク上の本製品からファクスとして送信できます。また、送付書を添付して送ることもできます。
PC-FAX を使うときは、あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクス送信先を簡単に設定できます。また、個人情報を登録しておくと、ファクスや送付書に自分の名前や電話番号を自動的に入れることができます。

## ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う

作成したデータのアプリケーションメニューから「印刷」を選び、プリンターを「Brother PC-FAX」に設定すると、PC-FAX ウィンドウが表示されます。このウィンドウで送信先などを設定します。

ファクスの送信手順やアドレス帳の使い方などについては、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX を使う前に」

### ネットワーク PC-FAX 送信を行うポートを変更する

別冊の「かんたん設置ガイド」に記載されているインストール作業を行ったパソコンで送信する場合は、本製品のポートが選択されています。このまま使用する場合は設定する必要はありません。
使用するポートを変更したい場合は、次の手順で設定してください。

コントロールパネルのプリンターフォルダーを表示します。

- Windows® 7 の場合
  [ スタート ] メニューから [ デバイスとプリンター ] − [ プリンターと FAX] の順にクリックします。
- Windows Vista® の場合
  ［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。
- Windows® XP の場合
  ［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］をクリックします。
- Windows® 2000 の場合
  ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

［プロパティ］ダイアログボックスを表示します。

- Windows® 7 の場合
  「Brother PC-FAX」を選択し、右クリックして表示されるメニューから［プリンターのプロパティ］を選びます。
- Windows Vista®、Windows® XP、Windows® 2000 の場合
  「Brother PC-FAX」を選択し、右クリックして表示されるメニューから［プロパティ］を選びます。

「Brother PC-FAX」は、ドライバーインストール時に同時にインストールされます。
ドライバーのインストール方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

**［ポート］タブをクリックし、使用するポートを選びます。**

複数台の MFC をご使用の場合は、ネットワーク PC-FAX に使用するポートをここで指定してください。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

**［OK］をクリックします。**

設定が完了しました。

# 第 8 章 ネットワークリモートセットアップ機能を使う

この機能は、型番の先頭に「MFC」がついている機種のみご利用になれます。

## ネットワークリモートセットアップ機能とは

本製品の設定をネットワークに接続しているパソコンから変更したり、本製品の電話帳を編集できます。

### リモートセットアップを起動する

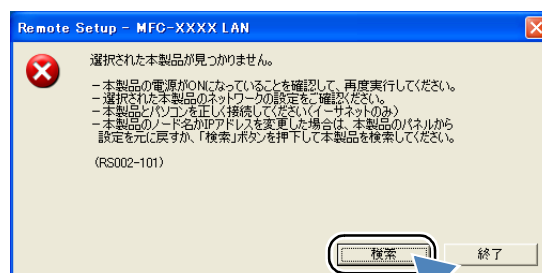
**［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［モデル名］－［リモートセットアップ］の順に選びます。**

接続している本製品から設定内容をダウンロードします。ダウンロードが終わると、リモートセットアップのダイアログボックスが表示されます。

詳細な説明については、下記をご覧ください。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「リモートセットアップを利用する」

### 本製品との接続に失敗した場合

**エラーメッセージの［検索］をクリックします。**

**表示される機器の一覧から、設定を変更する機器を選び、［OK］をクリックします。**

選択した機器への接続を開始します。

再度機器を検索する場合は、［検索］をクリックしてください。

**表示される一覧に、接続先の機器が表示されない場合**

［手動設定］をクリックして表示されるダイアログボックスで、接続先の IP アドレスまたはノード名を入力して設定してください。

# 第 9 章 BRAdmin Light で設定する（液晶ディスプレイモデルのみ）

## IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する

ブラザー BRAdmin Light は、BRAdmin Professional（Windows® のみ）のいくつかの機能をサポートした、ネットワークの初期設定用アプリケーションです。
Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2008/2008 R2、Windows Vista®、Windows® 7 で使用できます。
BRAdmin Light のインストールについては、別冊の「かんたん設置ガイド」を参照してください。

### ネットワークインターフェースを設定する

TCP/IP を利用して印刷するには、本製品に IP アドレスを割り当てる必要があります。

使用するパソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本製品の間にルーターが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。

**ゲートウェイの設定**
ルーターはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルーターが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルーターの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルーターの取扱説明書を参照してください。

IP アドレスは次の方法で割り当てます。

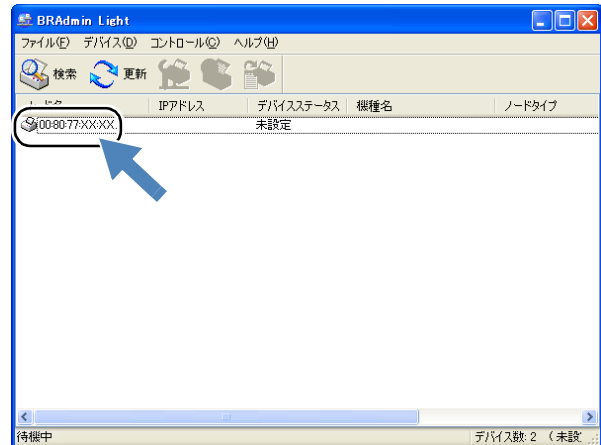
- **IP アドレス配布サーバーを利用している場合**
  本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。ほとんどのルーターは、この機能を持っています。

- **IP アドレス配布サーバーを利用していない場合**
  DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合でも APIPA（AutoIP）機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、割り当てられた IP アドレスがお使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light を使用して本製品の IP アドレスを変更してください。

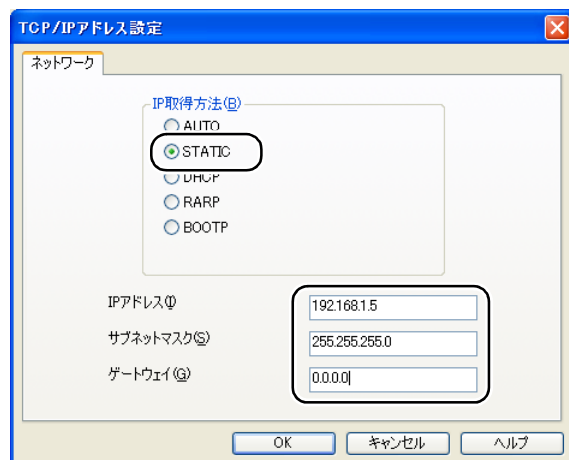
**お買い上げ時の IP アドレス**
IP アドレス配布サーバーを利用していない場合、お買い上げ時の設定は次のとおりです。
・IP アドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA 機能による自動割り当て）
**現在の IP アドレスを確認する場合**
⇒「IP アドレス」P.3-3 P.4-48
⇒「ネットワーク設定リストの出力」P.2-9

アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Light の「稼働中のデバイスの検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順にクリックします。

BRAdmin Light が新しいデバイスを自動的に検索します。

新しいデバイスをダブルクリックします。

ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本製品のネットワークインターフェースが表示されます。

［STATIC］を選択して、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイ］を入力します。

［OK］をクリックします。

本製品に IP アドレスが正しく設定されると、ウィンドウの左側にノード名およびプリンター名が表示されます。

## BRAdmin Light で設定を変更する

［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順にクリックします。

設定を変更するデバイスを選択します。

［コントロール］メニューから［ネットワーク設定］をクリックします。

パスワードを入力します。

パスワードを設定していない場合は、パスワードの入力は必要ありません。

5 必要に応じて、設定を変更します。

- BRAdmin Professional を利用すると、さらに詳細な設定ができます。BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。
- 操作パネルの設定メニューからも本製品のネットワークに関する項目の設定や変更ができます。
  ⇒「設定や確認ができる項目」P.2-2

# Macintosh 編

# 第 10 章 ネットワークプリンターとして使う

## 設定の流れ

別冊の「かんたん設置ガイド」の手順に従ってドライバーのインストールを進めると、自動的にネットワークプリンターの設定が完了します。

**BRAdmin Light** について（液晶ディスプレイモデルのみ）
BRAdmin Light は、ネットワークプリンターなど、ネットワーク環境に接続された装置の管理を行うソフトウェアです。
BRAdmin Light は、ドライバーをインストールすると自動的にインストールされます。
詳しくは、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

# 第 11 章 ネットワークスキャン機能を使う

## ネットワークスキャン機能とは

本製品でスキャンしたデータを、ネットワーク上の Macintosh へ送ったり保存したりできる機能です。

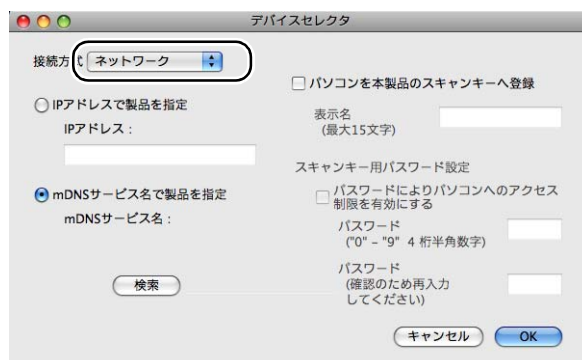
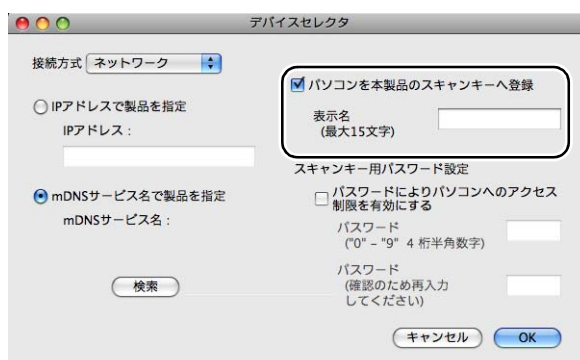
あらかじめ本製品の TCP/IP の設定が必要です。

## ネットワークスキャンの設定

本製品のスキャンボタンを押してネットワークスキャン機能を使う場合は、あらかじめ受信する Macintosh で「スキャンボタンへの登録」設定が必要です。次の手順で設定してください。
ネットワークスキャン機能の詳細な説明については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintoch 編」－「スキャナーとして使う前に」

**［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［DeviceSelector］の［デバイスセレクタ］をダブルクリックする**

「デバイスセレクタ」が表示されます。

**［ネットワーク］を選ぶ**

**［パソコンを本製品のスキャンキーへ登録］をチェックして、［表示名］に Macintosh の名前を入力する**

## 4 必要に応じて、項目を設定する

- 本製品が設定されていない場合または異なる製品を設定したい場合、［検索］をクリックして該当する製品名（mDNS サービス名）を選択します。
- 製品の IP アドレスを手動で入力して設定することもできます。

## 5 ［OK］をクリックします。

設定が変更されます。

**スキャンした画像データの保存に制限をつけたいときは**

スキャンした画像データを Macintosh に保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。

「パスワードによりパソコンへのアクセス制限を有効にする」をチェックして、4 桁の数字をパスワードとして登録します。

# 第 12 章 ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う

この機能は、型番の先頭に「MFC」がついている機種のみご利用になれます。

## ネットワーク PC-FAX 送信機能とは

PC-FAX 機能を利用すると、Macintosh 上のアプリケーションで作成したデータを、ネットワーク上の本製品からファクスとして送信できます。
PC-FAX を使うときは、あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクス送信先を簡単に設定できます。

## ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う

作成したデータのアプリケーションメニューから［プリント］を選び、プリントダイアログで「ファクス送信」を選ぶと PC-FAX 送信設定ウィンドウが表示されます。このウィンドウで送信先などを設定します。

ファクスの送信手順やアドレス帳の使い方などについては、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh からファクスを送る」

# 第 13 章 ネットワークリモートセットアップ機能を使う

この機能は、型番の先頭に「MFC」がついている機種のみご利用になれます。

## ネットワークリモートセットアップ機能とは

本製品の設定をネットワークに接続している Macintosh から変更したり、本製品の電話帳を編集できます。

### リモートセットアップを起動する

[Macintosh HD] ─ [ライブラリ] ─ [Printers] ─ [Brother] ─ [Utilities] から [Remote Setup] アイコンをダブルクリックします。

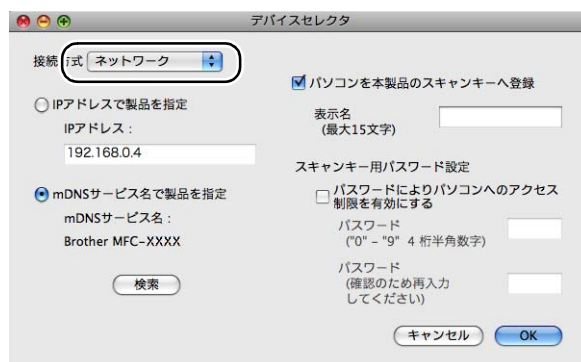
接続している本製品から設定内容をダウンロードします。ダウンロードが終わると、リモートセットアップの画面が表示されます。

詳細な説明については、下記をご覧ください。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「リモートセットアップを利用する」

### 本製品との接続に失敗した場合

[Macintosh HD] ─ [ライブラリ] ─ [Printers] ─ [Brother] ─ [Utilities] ─ [Device Selector] の [デバイスセレクタ] をダブルクリックします。

[ネットワーク] を選びます。

[検索] をクリックします。

表示される機器の一覧から、接続する機器を選び、[OK] をクリックします。

選択した機器への接続を開始します。

再度機器を検索する場合は、[検索] をクリックしてください。

# IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する

ブラザーBRAdmin Light は、Java アプリケーションソフトです。BRAdmin Professional（Windows®のみ）のいくつかの機能をサポートした、ネットワークの初期設定用アプリケーションです。
Mac OS X 10.4.11 ～ 10.6.x で使用できます。
ドライバーをインストールすると、自動的に BRAdmin Light もインストールされます。すでにドライバーをインストールしている場合は、再度インストールする必要はありません。

## ネットワークインターフェースを設定する

TCP/IP を利用して印刷するには、本製品に IP アドレスを割り当てる必要があります。

使用するパソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本製品の間にルーターが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。

**ゲートウェイの設定**
ルーターはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルーターが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルーターの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルーターの取扱説明書を参照してください。

IP アドレスは次の方法で割り当てます。

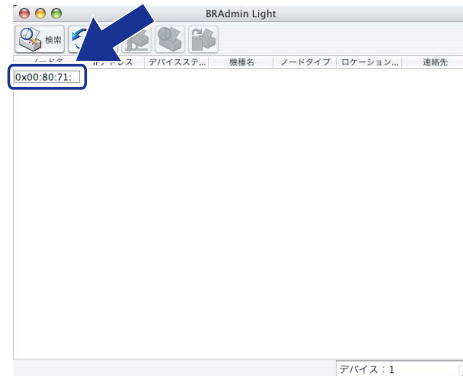
- **IP アドレス配布サーバーを利用している場合**
  本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。ほとんどのルーターは、この機能を持っています。

- **IP アドレス配布サーバーを利用していない場合**
  DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合でも APIPA（AutoIP）機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、割り当てられた IP アドレスがお使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light を使用して本製品の IP アドレスを変更してください。

**お買い上げ時の IP アドレス**
IP アドレス配布サーバーを利用していない場合、お買い上げ時の設定は次のとおりです。
・IP アドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA 機能による自動割り当て）
**現在の IP アドレスを確認する場合**
⇒「IP アドレス」P.3-3 P.4-48
⇒「ネットワーク設定リストの出力」P.2-9

アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Light の「稼働中のデバイスの検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］の［BRAdmin Light.jar］をダブルクリックします。

BRAdmin Light が新しいデバイスを自動的に検索します。

新しいデバイスをダブルクリックします。

メモ

ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能によりIPアドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本製品のネットワークインターフェースが表示されます。

［STATIC］を選択して、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイ］を入力します。

［OK］をクリックします。

本製品に IP アドレスが正しく設定されると、ウィンドウの右側にノード名およびプリンター名が表示されます。

##  BRAdmin Light で設定を変更する

**1** [Macintosh HD] － [ライブラリ] － [Printers] － [Brother] － [Utilities] の [BRAdmin Light.jar] をダブルクリックします。

**2** 設定を変更するデバイスを選択します。

**3** [コントロール] メニューから [ネットワーク設定] をクリックします。

**4** パスワードを入力します。

パスワードを設定していない場合は、パスワードの入力は必要ありません。

**5** 必要に応じて、設定を変更します。

操作パネルの設定メニューからも本製品のネットワークに関する項目の設定や変更ができます。
⇒「設定や確認ができる項目」P.2-2

# こんなときは

# 第 15 章 困ったときは（トラブル対処方法）

この章では、ネットワークに関してトラブルが発生したときの対応方法について説明しています。
該当する問題のページをご覧ください。



## 無線 LAN アクセスポイントに接続できない

1）次の項目を確認してください。

**●無線 LAN アクセスポイントと、本製品が離れ過ぎていませんか？間に障害物がありませんか？**

本製品を見通しの良い場所へ移動させたり、できるだけ無線 **LAN** アクセスポイントに近づけてください。また、無線 **LAN** 設定時は **1m** 程度に近づけてお試しください。

**●近くに無線 LAN に影響を及ぼすものはありませんか？**

本製品の近くに、ほかの無線 **LAN** アクセスポイントやパソコン、短距離無線通信対応機器、電子レンジ、デジタルコードレス電話がある場合は離してください。

2）次の場合は、お使いのブロードバンドルーターなどのメーカーにお問い合わせください。

**●無線 LAN アクセスポイントが正常に動作していますか？**

無線 **LAN** を内蔵したパソコンでインターネットに接続できるかお試しください。

**●アクセス制限を設定していませんか？**

無線 **LAN** アクセスポイントの **MAC** アドレスフィルタリング機能を使用している場合は、本製品の **MAC** アドレスを無線 **LAN** アクセスポイントに登録して、通信を許可してください。

本製品の MAC アドレス（イーサネットアドレス）は、「MAC アドレス」P.4-69 でご確認ください。
有線 LAN と無線 LAN では、MAC アドレスが異なりますので注意してください。

**● SSID（ネットワーク名）を表示させない設定にしていませんか？**

無線 **LAN** アクセスポイントが **SSID** の隠ぺい（**SSID** ステルスモード）に設定されているときは、本製品から自動的に見つけることはできません。**SSID** を操作パネルまたはパソコンの画面から本製品に入力してください。
⇒「SSID が隠ぺいされている場合」（液晶ディスプレイモデルの場合）P.4-9
⇒「SSID が隠ぺいされている場合」（タッチパネルモデルの場合）P.4-16

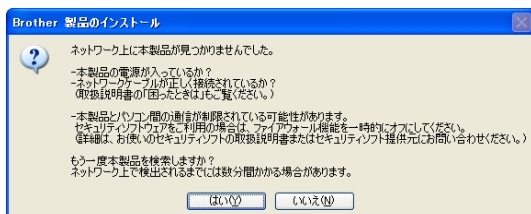
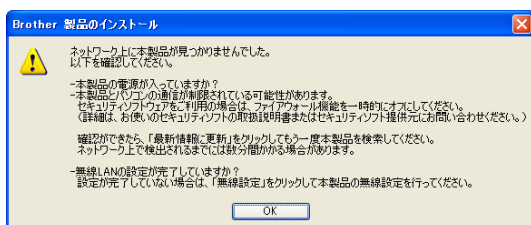
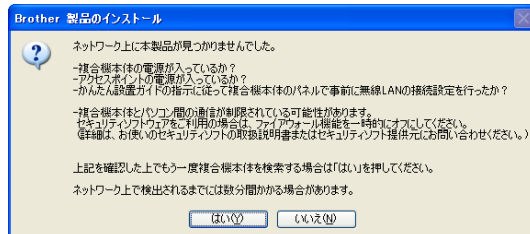
**●パスワード（ネットワークキー：セキュリティキー、暗号化キーなど）の設定は正しいですか？**

大文字、小文字は区別されます。認証されないときは、パスワードが間違っていないか確認してください。

**●近くで別の無線機器を使用していませんか？**

近隣などですでに別の無線機器が導入されているときは、電波干渉を避けるために無線 **LAN** アクセスポイントのチャンネル番号をできるだけ離して（推奨：チャンネル番号 **5** 以上）設定してください。

上記 1）2）を行っても接続できない場合は、「ネットワークプリンター診断修復ツール」を使って確認してください。P.15-7

# インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない

有線 LAN 接続の場合

無線 LAN 接続の場合（液晶ディスプレイモデル）

無線 LAN 接続の場合（タッチパネルモデル）

次の項目を確認してください。

## お使いのパソコンから本製品までの接続機器が正常に稼働しているか確認してください。

⇒「ネットワーク機器に問題がないか調べるには」P.15-5

## セキュリティソフトによってブロックされていないか確認してください。

⇒「セキュリティソフトウェアについて」P.15-6

## 設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないか確認してください。

⇒「ネットワークの設定がうまくいかないときは」P.15-7

# 印刷 / スキャンできない

次の手順を確認してください。

### お使いのパソコンから本製品までの接続ケーブルや接続機器が正常に動作しているか確認してください。

⇒「ネットワーク機器に問題がないか調べるには」P.15-5

### セキュリティソフトによってブロックされていないか確認してください。

⇒「セキュリティソフトウェアについて」P.15-6

### 設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないかを確認します。

⇒「ネットワークの設定がうまくいかないときは」P.15-7

### 古い印刷ジョブを削除してください。

印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。

Windows® の場合は、プリンターフォルダー内のプリンターアイコンをダブルクリックし、［プリンタ］メニューから［すべてのドキュメントの取り消し］を選択してください。

プリンターフォルダーの表示方法
＜ Windows® 7 ＞
［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］－［プリンターと FAX］の順にクリックします。

＜ Windows Vista® ＞
［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］の順にクリックします。

＜ Windows® XP ＞
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタとFAX］の順にクリックします。

＜ Windows® 2000 ＞
［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

### 再度、印刷 / スキャンを試してください。

それでも印刷 / スキャンなどができない場合は、ドライバーをアンインストールして、別冊の「かんたん設置ガイド」に従って、再度インストールすることをお勧めします。

ドライバーのアンインストール方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

# ネットワーク機器に問題がないか調べるには

お使いのパソコンから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか次の項目を確認してください。

**●本製品の電源は入っていますか？**

電源を入れて、印刷できる状態であることを確認します。エラーメッセージが表示されている場合は、下記をご覧になり、エラーを解除してください。

⇒ユーザーズガイド 基本編「こんなときは」

**●パソコンと無線 LAN アクセスポイントが、ネットワーク接続できていますか？**

お使いのパソコンで、インターネット閲覧や E メールなどの機能が正常に動作しているか確認してください。

**●接続方法を変更していませんか？**

接続方法を変更したときは、使用する接続方法に切り替えてください。

⇒「有線 LAN/ 無線 LAN を切り替える （DCP-J715N、MFC-J615N のみ）」P.2-5

**●有線 LAN の場合**

**接続したルーターやハブのランプは点灯 / 点滅していますか？**

一般的に、ルーター / ハブには接続状態を示すリンクランプがあり、点灯 / 点滅で接続状態を確認できます。本製品を接続している LAN ポートのリンクランプを確認します。

- ランプが点灯 / 点滅している場合：接続には問題ありません。
- ランプが点灯 / 点滅していない場合：接続に問題があるようです。

次の項目を確認してください。

- **ルーターまたはハブなどの LAN ポートにパソコンと本製品が正しく接続されていますか？**

  接続されていない場合は正しく接続しなおしてください。

  接続にはストレートケーブルを使用してください。ほかのケーブルを使用している場合は、ストレートケーブルで接続しなおしてください。

- **ほかの LAN ポートに接続しなおしたり、ほかの LAN ケーブルに差し換えてお試しください。**

  それでも点灯 / 点滅しない場合は、ルーターまたは、ハブのメーカーにご相談ください。

**●無線 LAN の場合**

**「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」の項目で当てはまるものはありませんか？**

⇒「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」P.15-2

# セキュリティソフトウェアについて

## ●インストール

市販のセキュリティソフトでパーソナルファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

セキュリティ許可を促す画面で、拒否をするとインストールの完了ができないことがあります。この場合は、セキュリティソフトを再度インストールするか、セキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

## ●印刷やその他の機能をご利用になるとき

インストール完了後、印刷やその他の機能をご使用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可をしてください。拒否をした場合の対処や印刷に使用するポートの通信許可の方法については、セキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

## ●本製品のネットワーク機能をご利用になるとき

次の機能をご利用いただく場合は、セキュリティ設定を行う必要があります。

- ネットワークスキャン
- ネットワーク PC-FAX 受信（MFC モデルで Windows® のみ）
- BRAdmin Light（液晶ディスプレイモデルのみ）

それぞれのセキュリティソフトの設定で、次のポート番号を追加してください。
ポート番号の追加方法は、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書、またはセキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

| 機能 | 名称 * | ポート番号 | プロトコル（TCP/UDP） |
|---|---|---|---|
| ネットワークスキャン | 例）Brother NetScan | 54925 | UDP |
| ネットワーク PC-FAX 受信（MFC モデルで Windows® のみ） | 例）Brother PC-FAX RX | 54926 | UDP |
| BRAdmin Light（液晶ディスプレイモデルのみ） | 例）SNMP | 161 | UDP |

*名称は任意です。

# ネットワークの設定がうまくいかないときは

設定しているネットワーク情報（IP アドレスおよびサブネットマスク）に誤りがないかどうかを確認します。
Windows® の場合は、ネットワーク接続で印刷ができない場合にネットワーク設定の確認画面が表示されます。画面の指示に従ってください。
問題が解決したら［完了］をクリックします。
問題が解決しない場合は、［次へ］をクリックし、画面の指示に従ってください。「ネットワークプリンター診断修復ツール」を使って自動で修復できるかどうかをお試しください。

Windows Vista® または、Windows®7 をお使いの場合、ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、［続行］または［はい］をクリックします。

操作が完了したら、「ネットワークプリンター診断修復ツール」の［テストページの印刷］をクリックします。テストページで製品のネットワーク接続状況を確認します。
「ネットワークプリンター診断修復ツール」で IP アドレスとサブネットマスクを確認します。
「ネットワークプリンター診断修復ツール」で本製品のネットワーク設定を合わせ、IP アドレスとサブネットマスクを割り当てます。

Macintosh の場合は、お使いのパソコンと本製品の IP アドレスおよびサブネットマスクを手動で確認、再設定を行ってください。再設定について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒かんたん設置ガイド「困ったときは」

## 「ネットワークプリンター診断修復ツール」を使用する（Windows® のみ）

「ネットワークプリンター診断修復ツール」でネットワークプリンターを診断し、その結果を表示、場合によっては問題を自動で修復します。

タッチパネルモデルの場合
「ネットワークプリンター診断ツール」で自動修復をおこなった場合は、通信ボックスの IP アドレスが変更されます。また、【IP 取得方法】が【DHCP】から【Static】（固定）に設定が変わります。

- Windows® 2000/XP/Windows Vista®/Windows®7 を使用している場合は、アドミニストレーター（Administrator）権限でネットワークにログインしてください。
- 本製品の電源を入れ、パソコンとネットワーク接続して状態で、以下の手順を実行してください。

（Windows® 2000/XP/Windows Server® 2003/2008 の場合）
［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム )］－［アクセサリ］－［エクスプローラ］の順にクリックし、［マイコンピュータ］をクリックします。

（Windows Vista®/Windows®7 の場合）
［スタート］メニューから［コンピューター］をクリックします。

［ローカルディスク (C:)］－［Program Files（Program Files (x86)）］－［Browny02］－［Brother］の順に選び、［BrotherNetTool.exe］をダブルクリックします。

Windows Vista® または、Windows®7 をお使いの場合、ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、［続行］または［はい］をクリックします。

画面の指示に従い、診断修復を行います。

「ネットワークプリンター診断修復ツール」を使っても改善しない場合は、ネットワーク管理者へご相談ください。

## パソコンのネットワーク情報を調べる

［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［アクセサリ］を選び、［コマンドプロンプト］をクリックします。

「ipconfig」と入力し、Enter キーを押します。

「IP Address（IP アドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を探して、設定値を確認してください。

例）

「exit」と入力し、Enter キーを押して終了します。

# 本製品の IP アドレスの確認方法

1 ネットワークの設定内容リストを印刷して、「IP Address（IP アドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を探して、設定値を確認してください。
⇒「ネットワーク設定リストの出力」P.2-9

例）

ここを確認

```
<IP Settings >
IP Address          192.168.11.250    (set manually)
Subnet Mask         255.255.255.0
IP Gateway          192.168.100.200
IP Config           STATIC
Boot Tries          3
IP Filter           Disabled
```

お使いのパソコンと本製品の **2** つの **IP** アドレスを確認してください。下図にあるように、ネットワークアドレス部が同じかどうかを確認します。例えば、**Subnet Mask**（サブネットマスク）が、「**255.255.255.0**」の場合、右端の各機種のアドレスだけが違う状態が正常な状態です。

**Subnet Mask**（サブネットマスク）は、**IP Address**（**IP** アドレス）に被せるマスクと考えてください。下図の例では、**Subnet Mask**（サブネットマスク）の「**255**」にかかる部分がネットワークアドレス部、「**0**」にかかる部分がホストアドレス部と呼ばれ、各機器のアドレスになります。

例）**IP** アドレスが「**192.168.100.250**」の場合

ネットワークアドレス部　ホストアドレス部

| | |
|---|---|
| IPアドレス | 192.168.100.250 |
| サブネットマスク | 255.255.255.0 |

| IP アドレス | あるパソコンは 192.168.100.202、ほかのパソコンには 192.168.100.203、本製品には 192.168.100.250 のように、サブネットマスクの「0」にかかる部分の数値を 1 ～ 254 の間で設定してください。 |
|---|---|
| サブネットマスク | 通常は、255.255.255.0 であれば問題ありません。プリンターを使用するすべてのパソコンで同じ値にしてください。 |

● 正常な状態なら・・・

**IP** アドレスに関しては問題ありません。次の確認へ進んでください。

● 正常な状態でないなら・・・

**IP** アドレスが重複しないように設定し直してください。

例）パソコン側の **IP** アドレス　：**192.168.100.202**
　　本製品側の **IP** アドレス　　：**192.168.100.250**

⇒「IP アドレス」P.3-3 P.4-48

## ●ルーターやスイッチングハブの電源を入れなおす

頻繁に接続しなおしたり、接続している製品の IP アドレスの変更を繰り返し行った直後には、IP アドレス設定に誤りがなくても正常に動作しない場合があります。ルーターやハブの再起動（電源の入れなおし）をしてください。

# 複合機本体と通信ボックスの接続がうまくいかないときは（タッチパネルモデルのみ）

複合機本体と通信ボックスの接続方法をお買い上げ時の状態に戻します。先に通信ボックスでリセット操作をしたあと、続けて複合機本体のリセット操作を行います。

通信ボックスの［機能/確定］を押し、［▼］/［▲］で【0. ショキ　セッテイ】を選び、［機能/確定］【7. セッテイリセット】［機能/確定］【3. ボックスセツゾクリセット】を選んで、［機能/確定］を押します。

【ボックスセツゾクリセット ?】と【▼　リセット　▲　キャンセル】が交互に表示されます。

［▼］（リセット）を押します。

【サイキドウ　シマスカ ?】と【▼　スル　▲　シナイ】が交互に表示されます。

［▼］（スル）を押します。

数秒後に通信ボックスが再起動します。
再起動が完了したら、引き続き、複合機本体のリセットを行います。

複合機本体画面の【メニュー】を押し、［▼］/［▲］を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】、【設定リセット】、【通信ボックス接続リセット】の順に押します。

【最初に　通信ボックスの［機能 / 確定］を押してショキセッテイ　>　セッテイリセット　>　ボックスセツゾクリセット　を実行してください　はい / いいえ】と表示されます。

【はい】を押します。

【再起動しますか ? 実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください。キャンセルする場合は［いいえ］を押してください。/ はい / いいえ】と表示されます。

【はい】を、2 秒間押します。

数秒後に複合機本体が再起動し、複合機本体と通信ボックスが接続された状態になります。

# 第 16 章 付録

## 操作パネル以外から IP アドレスを設定する

### 概要

TCP/IP を使用するには、ネットワーク上の機器に固有の IP アドレスを設定する必要があります。
この章では、本製品の IP アドレスの設定方法について説明します。

#### IP アドレスの設定

**IP アドレスの自動設定機能（APIPA）**
APIPA が使用可能で、DHCP などの IP アドレス配布サーバーがない環境では、
169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で自動的に IP アドレスが割り当てられます。
お買い上げ時の設定では、APIPA は使用可能に設定されています。
APIPA を使用しない場合は、「APIPA」を【オフ】に設定してください。
⇒「APIPA」P.3-10 P.4-62

初期設定の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。IP アドレスの変更は、次のいずれかの方法で設定できます。

- 操作パネルから設定を変更する P.3-3 P.4-48
- 手動で IP アドレスを設定する /BRAdmin Light（液晶ディスプレイモデルのみ）P.16-2
- DHCP を使用して自動的に設定する P.16-2
- APIPA を使用して自動的に設定する（液晶ディスプレイモデルのみ）P.16-2
- RARP を使用する P.16-2
- BOOTP を使用する P.16-3

# IP アドレスの設定方法

## 手動で IP アドレスを設定する /BRAdmin Light（液晶ディスプレイモデルのみ）

BRAdmin Light は、Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2008/2008 R2、Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.4.11 ～ 10.6.x で使用できるソフトウェアです。
TCP/IP に対応していて、ネットワークと本製品の設定を管理できます。また、本製品のファームウェアのアップデートにも利用できます。

BRAdmin Light では、本製品との接続に TCP/IP を使用して、IP アドレスを変更できます。本製品の初期設定の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。
ただし、DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、自動的に IP アドレスが設定されます。お買い上げ時の設定では、APIPA の機能が有効になっています。

詳しくは、「BRAdmin Light で設定する（液晶ディスプレイモデルのみ）」P.9-1 P.14-1をご覧ください。

## DHCP を使用して自動的に設定する

動的ホスト構成プロトコル（DHCP）は、IP アドレス自動割り当て機能の 1 つです。ネットワーク上に DHCP サーバーがある場合は、その DHCP サーバーから本製品に自動的に IP アドレスが割り当てられます。

## APIPA を使用して自動的に設定する（液晶ディスプレイモデルのみ）

DHCP サーバーが利用できない場合は、本製品の IP アドレスの自動設定機能（APIPA）によって IP アドレスとサブネットマスクを自動的に割り当てます。本製品の IP アドレスを 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲、サブネットマスクは 255.255.0.0、ゲートウェイアドレスは 0.0.0.0 に自動的に設定します。
お買い上げ時の設定では、APIPA は使用可能に設定されています。

## RARP を使用する

UNIX ホストコンピューターなどで Reverse ARP（RARP）機能を使用し、本製品の IP アドレスを設定できます。

**00:80:77:31:01:07 BRNXXXXXXXXXXXX**

最初のエントリは、本製品の MAC アドレス（イーサネットアドレス）で、2 番目のエントリは本製品の名前です。この名前は、/etc/hosts ファイル内の名前と同じでなければなりません。

rarp デーモンが実行されていない場合は、実行する必要があります。このコマンドは、使用しているシステムによって、rarpd、rarpd-a、in.rarpd-a などと、少しずつ異なります。詳細は、man rarpd と入力するか、システムのマニュアルをご覧ください。

本製品の電源を入れると、rarp デーモンから IP アドレスが割り当てられます。

## BOOTP を使用する

BOOTP を使用して IP アドレスを設定するには、ホストコンピューターに BOOTP がインストールされ、実行されている必要があります。ホスト上の /etc/services ファイルに BOOTP がリアルサービスとして記述されていなければなりません。man bootpd と入力するか、システムのマニュアルをご覧ください。
通常、BOOTP は /etc/inetd.conf ファイルを使用して起動されますので、このファイルの bootp エントリの行頭にある # を削除して、この行を有効にしておく必要があります。
一般的な /etc/inetd.conf ファイル内の bootp エントリを次に示します。

**#bootp dgram udp wait /usr/etc/bootpd bootpd -i**

システムによって、このエントリには bootp ではなく bootps が使用されている場合があります。

BOOTP を有効にするには、エディタを使用して行頭の # を削除します。# がない場合は、BOOTP はすでに有効になっています。
次に、設定ファイル（通常は /etc/bootptab）を編集し、ネットワークインターフェースの名前、ネットワークの種類（Ethernet の場合は 1）、MAC アドレス（イーサネットアドレス）、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。ただし、この記述フォーマットは標準化されていないため、システムのマニュアルをご覧ください。
一般的な /etc/bootptab エントリの例を、次に示します。

**BRN008077310107 1 00:80:77:31:01:07 192.189.207.3**
および
**BRN008077310107:ht=ethernet:ha=008077310107:**
**ip=192.189.207.3:**

BOOTP ホストソフトウェアの中には、ダウンロードするファイル名が設定ファイル内に含まれていないと、BOOTP リクエストに応答しないものがあります。そのような場合には、ホスト上に null ファイルを作成し、このファイルの名前とパスを設定ファイル内で指定します。

RARP での設定の場合と同じように、本製品の電源を入れると、BOOTP サーバーから IP アドレスが割り当てられます。

# オートマチックドライバーインストーラーを使う（Windows® のみ）

プリンタードライバーをご使用の設定に合わせて作成するツールです。ネットワーク接続で使用するオリジナルドライバーを作成でき、ユーザーに配布することができます。配布インストーラーは、OS ごとの作成が必要です。
プリンタードライバーとソフトウェア（ピアツーピア接続の場合）を同時にインストールできるため、わずらわしい設定作業をすることなくプリンタードライバーの設定が可能になり、インストール作業の時間と手間を省けます。
このソフトウェアは Windows® 専用です。

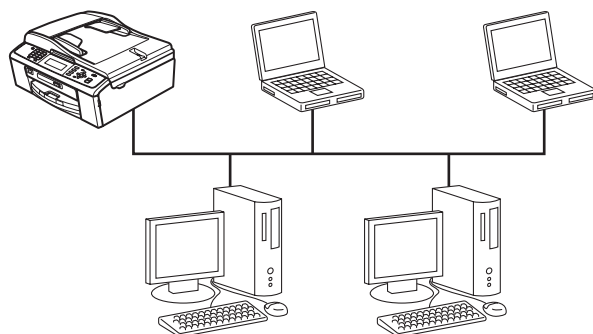
| 対応ポート | OS |
|---|---|
| LPR | Windows® 2000/XP、Windows Vista® および Windows® 7 |

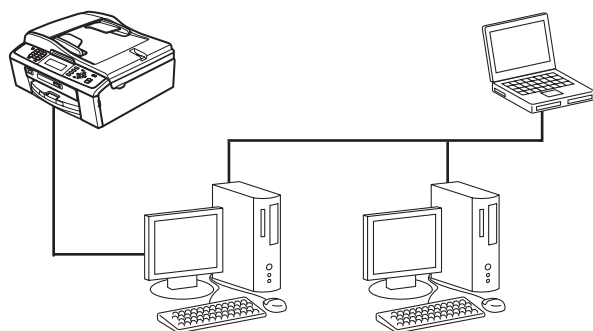
本製品はパラレルポートおよび IPP はサポートしていません。

## 接続方法

オートマチックドライバーインストーラーは、次のネットワーク環境で使用できます。

### ブラザーピアツーピアネットワークプリンター

本製品がネットワーク経由で直接パソコンと接続されている環境です。（LPR、NetBIOS など）

### ネットワーク共有プリンター

本製品が特定のパソコンまたはサーバーなどを経由してネットワーク接続している環境です。
（Windows® サーバーによる共有、Windows® クライアントによる共有など）

## オートマチックドライバーインストーラーを使う

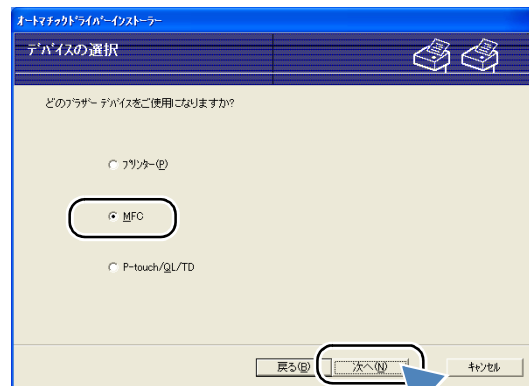
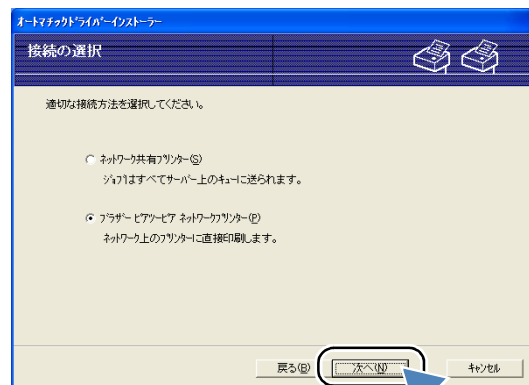
本製品に付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

「オートマチックドライバーインストーラー」を起動します。

「カスタムインストール」、「ネットワークユーティリティ」、「オートマチックドライバーインストーラー」の順にクリックします。

Windows Vista® または、Windows® 7 をお使いの場合、ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、［続行］または［はい］をクリックします。

## 3 ［次へ］をクリックします。

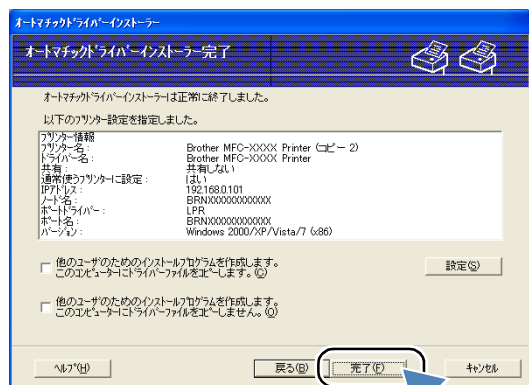
## 4 「MFC」を選び、［次へ］をクリックします。

## 5 接続方法を選び、［次へ］をクリックします。

本製品を選び、［次へ］をクリックします。

プリンターに IP アドレスが設定されていない場合は、デバイスを選択して、［IP の設定］をクリックします。表示される画面で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイのアドレスを設定します。

「インストールされているドライバーを使用する」をオンにして表示される画面で、プリンタードライバーを選び、［次へ］をクリックします。

プリンタードライバーが表示されない場合は、［ディスク使用］をクリックして、プリンタードライバーのある場所を指定してください。

8 内容を確認して、［完了］をクリックします。

選択したプリンタードライバーがインストールされます。

プリンタードライバーのインストールプログラムを作成する場合は、次のいずれかにチェックしてください。

- 「他のユーザのためのインストールプログラムを作成します。このコンピューターにドライバーファイルをコピーします。」
- 「他のユーザのためのインストールプログラムを作成します。このコンピューターにドライバーファイルをコピーしません。」

ネットワーク共有用のインストールプログラムを、ネットワークプリンターにアクセスできないユーザーが実行すると、ポートの設定が LPT1 になります。

# オープンソースライセンス公開

## OpenSSL について

### OpenSSL License

## Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1.Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3.All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4.If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

## Part of the software embedded in this product is gSOAP software.



## This product includes SNMP software from WestHawk Ltd.

# 用語集

## ● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。銅線の一般加入者電話（アナログ）回線を利用して、数M ～数＋ Mbps の高速データ通信を可能にする通信方式です。

## ● APIPA

Automatic Private IP Addressing の略。IP アドレスの自動的な割り当て管理機能です。本製品では最初に自身のシステムに割り当てる IP アドレスを「169.254.1.0 ～ 169.254.254.255」の範囲からランダムに 1 つ選びます。そして、ARP 要求をネットワークにブロードキャストすることによって、その IP アドレスがほかのシステムで利用されていないかどうかを確認します。もしほかのシステムから ARP の応答が返ってくれば、その IP アドレスは使用中であるとみなし、別の IP アドレスで再試行します。このようにして未使用の IP アドレスを見つけ、自身のシステムに割り当てることによって、IP アドレスが重複しないことを保障します。

## ● ARP

Address Resolution Protocol の略。IP アドレスから MAC アドレス（イーサネットアドレス）を求めるためのプロトコルです。

## ● BOOTP

BOOTstrap Protocol の略。ハードディスクを搭載しないディスクレスクライアントシステムが、ネットワークアクセスを行うための IP アドレスやサーバーアドレス、起動用プログラムのロード先などを見つけだし、システムを起動できるようにすることを目的として開発された UDP/IP 上のプロトコルです。BOOTP を利用すれば、ネットワーククライアントの IP アドレスやノード名、ドメイン名、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバーアドレスなどの情報を、クライアントの起動時に動的に割り当てられるようになります。TCP/IP ネットワークでは、各クライアントごとにこれらのネットワーク情報を設定する必要がありますが、BOOTP を利用すれば、クライアントの管理をサーバー側で集中的に行えるようになります。そのあと、一部を改良された DHCP が開発され、広く利用されるようになっています。

## ● DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol の略。DHCP は、IP アドレスやサーバーアドレスなどの設定ファイルを起動時に読み込めるように開発された BOOTP（BOOTstrap Protocol）をベースとする上位互換規格です。
BOOTP は、クライアントの IP アドレスやノード名などをあらかじめ決定しておく必要がありましたが、DHCP では、クライアントがネットワークに参加するためのすべてのパラメーター（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、ドメイン名など）を自動的に割り当てることができます。サービスを実行するにはサーバーもしくは、その機能を有するルーターが必要です。

## ● DNS

Domain Name System の略。Domain Name System という体系で命名されたホスト名（ドメイン名）から IP アドレスを調べるためのサービスです。ネットワーク上の資源を管理・検索するためのシステムです。インターネットの IP アドレスの名前の解決に広く利用されています。

## ● FTTH

Fiber To The Home の略。電話局から各家庭までの加入者線を結ぶアクセス網を光ファイバー化し、高速な通信環境を構築する計画のことを指します。
光ファイバーを使用すると、高速なインターネット接続や格安なひかり電話サービスを利用することができます。

## ISDN

Integrated Services Digital Network の略。「総合デジタル通信網」と呼ばれるサービス体系の総称です。

## LAN

Local Area Network の略。同一フロア、同一のビル内などにあるパソコン同士を、Ethernet などの方法で接続したネットワークのことを指し、閉鎖されたネットワークという位置付けがあります。

## MAC アドレス（イーサネットアドレス）

Media Access Control の略。OSI 参照モデルのデータリンク層で定義されるインターフェースカードのアドレス。機器内部に記憶されているので、ユーザーが変更することはできません。

## mDNS（multicast DNS）

DNS サーバーが存在しないような小規模なローカルエリアネットワーク環境においても、クライアントコンピューターがネットワーク上に存在する機器を名前で検索して利用できるようにする機能です。Apple Mac OS X の簡易ネットワーク設定機能などで使われています。

## ping

Packet InterNetwork Groper の略。相手先ホストへの到達可能性を調べるコマンドです。

## RARP

Reverse Address Resolution Protocol の略。TCP/IP ネットワークにおいて、MAC アドレス（イーサネットアドレス）から IP アドレスを求めるのに使われるプロトコルです。

## SOHO

Small Office / Home Office の略。小人数のオフィスや、家庭で仕事をする個人事業者を指します。大企業と対照的に使用されることが多いようです。

## TCP/IP

Transmission Control Protocol / Internet Protocol の略。インターネットで使用されているプロトコル、通信ソフト（アプリケーション）を特定して通信路を確立するプロトコル（TCP）と、通信経路（IP）から構成されています。OSI 参照モデルでは TCP はレイヤー 4、IP はレイヤー 3 に対応しています。

## WINS

Windows® Internet Name Service の略。Windows® 環境で、ネームサーバーを呼び出すためのサービスです。サービスを実行するにはサーバーが必要です。

## WWW

World Wide Web の略。インターネットでの情報検索システム、サービスシステムのひとつです。

## カテゴリ

LAN ケーブルの品質を指します。カテゴリ 5 は 100BASE-TX で利用されています。将来ギガビット・イーサネット（1000BASE-T）によるネットワークを想定する場合は、カテゴリ 6 を選択することが推奨されています。カテゴリ 5 で保証される周波数帯域は 100MHz までですが、カテゴリ 6 では 250MHz まで保証されています。また、LAN ケーブルは UTP ケーブルと呼ばれる場合もあり、UTP は Unshielded Twisted Pair の略で、「より線」のことを指しています。シールド付きのものは、STP ケーブルと呼ばれます。

### ●ゲートウェイアドレス

ネットワークとネットワークを接続する際の、外部のネットワークとの接点となるホストの IP アドレスを指します。別名「デフォルトルーター」や、単に「ルーター」と呼ばれる場合もあります。ルーターは、同一ネットワーク内に存在するホストである面と、ほかのネットワークにも同時に所属している両面を持っています。

### ●サブネットマスク

ネットワークを複数の物理ネットワークに分割するのに使用します。サブネットマスクはクラスごとに固定されています。

| | |
|---|---|
| クラス A | 255.000.000.000 |
| クラス B | 255.255.000.000 |
| クラス C | 255.255.255.000 |

ルーターの取扱説明書によっては、192.168.1.1 / 255.255.255.0 のことを、192.168.1.1/24 と表記している場合があります。255.255.255.0 を 2 進数に換算すると、先頭から 1 が 24 個並びます。"/24" とは、この事を指します。24bit 以外のマスク値を設定することも可能ですが、IP 管理が複雑になりますので、マスク値は 24bit でご利用することをお勧めします。なお、ローカルネットワークで利用する IP アドレスのことをプライベート IP アドレスと呼び、こちらもクラスがわかれています。

| | |
|---|---|
| クラス A | 010.000.000.000 ～ 010.255.255.255 |
| クラス B | 172.016.000.000 ～ 172.031.255.255 |
| クラス C | 192.168.000.000 ～ 192.168.255.255 |

### ●スイッチング・ハブ

スイッチング機能を持つハブ（集線装置）。パケットをその宛先に応じて振り分け、ネットワークトラフィックを局所化して、ネットワークの全体的な通信バンド幅を増やすことができるのが特徴です。10BASE-T や 100BASE-TX などのネットワークでは、各ネットワーク機器同士をハブで相互に接続していますが、Ethernet の通信方式の関係上、ノード数が増えると有効な帯域幅が急速に飽和するという特性を持っています。そこで、実際に通信をするポート同士だけを直結して通信を行い、それ以外のポートへは流れないようにするスイッチング技術が開発されました。これを実装したハブをスイッチング・ハブといいます。

### ●ノード

node。ネットワークに接続されているコンピューターなどの機器を指します。「ノード名」と「ホスト名」は同じ意味です。

### ●ルーター

ネットワーク間（LAN と LAN、LAN と WAN）の接続を行うネットワーク機器の一つです。ルーターはインターネット接続されたアドレスを変換し、LAN 内からアクセスできるようにしたり、LAN 内のサーバーを指定したポートを通じて外部に公開したりする NAT（アドレス変換）の機能があります。

# 無線 LAN に関する用語

## IEEE802.11b 及び IEEE802.11g
IEEE（米国電気電子学会）で定めた無線 LAN 規格で、IEEE802.11b は最大 11M ビット / 秒での通信が可能です。IEEE802.11g は IEEE802.11b の上位互換であり、更に高速な最大 54M ビット / 秒での通信が可能です。本製品の無線 LAN 機能は IEEE802.11b 及び IEEE802.11g の両方の規格に対応しています。

## AES
米国商務省標準技術局が定めた次世代標準暗号化方式のことです。
IEEE802.11i の暗号化方式の一つに採用されています。

## AOSS™
AirStation One-Touch Secure System の略。バッファロー社の無線 LAN アクセスポイント、エアーステーションシリーズに搭載されている機能で、接続設定とセキュリティ設定が簡単に行えます。

## ASCII
American Standard Code for Information Interchange の略。アメリカ規格協会が定めた情報交換用の文字や記号を数値表現したものです。例えば ASCII コードの「41」はアルファベットの「A」を表します。

## HEX
HEXADECIMAL の略。数字の 0 ～ 9 及びアルファベットの A ～ F を使用する 16 進数表示です。

## MAC アドレスフィルタリング
無線 LAN アクセスポイントに MAC アドレスを登録することにより、許可された無線 LAN 端末以外は接続できなくなります。

## SSID
Service Set Identifier の略。ネットワーク名とも呼ばれる SSID は、無線 LAN をほかの無線 LAN と区別するネットワークの識別子のことで、無線 LAN をグループ化するために用いられます。通常は無線 LAN アクセスポイントから発信されるビーコン等のパケットに含まれますが、ネットワークによっては、セキュリティ強化の為に SSID を表示しないようにする場合もあります。
（SSID の隠ぺい）

## TKIP
Temporal Key Integrity Protocol の略。WEP の後継にあたる暗号化の規格で、暗号化方式は WEP と同じ RC4 を利用しています。
TKIP は一定時間ごと、または一定パケット量ごとにネットワークキーが更新されるため WEP キーによる暗号化よりも高いセキュリティになります。

## WEP
Wired Equivalent Privacy の略。IEEE802.11 で標準化されている暗号化方式です。無線 LAN アクセスポイントやクライアントで共通のネットワークキー（WEP キー）を設定して通信の暗号化を行います。設定したネットワークキーが一致しない限り暗号化されたデータを解読することができません。

## WPA-PSK
無線 LAN の業界団体 Wi-Fi Alliance® が提唱する WPA（Wi-Fi Protected Access™）の Personal モードです。WPA-PSK は、無線 LAN で使用される暗号化技術を用いた認証方式の一つであり、TKIP または AES 暗号化を使用した PSK（事前共有キー）による認証を行います。

## ● WPA2-PSK
次世代標準暗号化方式の「AES」を使用した強力な暗号技術を用いた承認方式の一つであり、AESネットワークキーを使用したPSK（事前共有キー）による認証を行います。
WPA2-PSK対応の無線LAN端末であればWPA-PSK互換モードにより、従来から使用されているWPA対応機器との通信もできます。

## ● WPS
Wi-Fi Protected Setupの略。Wi-Fi Alliance® が考案した、簡単に無線接続設定ができる規格です。無線LANアクセスポイントと無線接続を行いたい機器がWPSに対応していれば、セットアップボタンを押すだけで設定が完了して接続できるようになります。プッシュボタン方式以外には、PIN（Personal Identification Number）と呼ばれる機器固有の番号を入力・登録するPINコード方式があります。PINコード方式は主にパソコン向けであり、プッシュボタン方式はゲーム機やプリンターなどのように入力インターフェースを持たない機器向けの仕様です。

## ●アドホック（Ad-hoc）通信
無線LANアクセスポイントを経由しないで、直接それぞれの無線LAN端末間で通信するネットワークです。このタイプのネットワークは、アドホックモード、またはピア・ツー・ピア・ネットワークとも呼ばれています。

## ●インフラストラクチャ（Infrastructure）通信
無線LANアクセスポイントを経由して、それぞれの無線LAN端末が通信するネットワークです。インフラストラクチャモードとも呼ばれています。

## ●セキュリティ（Security）
無線LANでは電波の届く範囲内であれば自由にそのネットワークへ接続することが可能になります。従って、悪意を持った第三者に通信内容を盗聴されたり、無断でネットワークに侵入されて個人情報の取り出しやデータの改ざん、システムの破壊などの行為を許さないために暗号化などの安全保護を行うことを推奨します。この安全保護のことをセキュリティといいます。

## ●チャンネル（Channel）
無線LANでは通信のためにチャンネルが使われます。それぞれのチャンネルは予め決められたそれぞれ異なる周波数帯域を持っています。一つの無線LAN内のすべての無線LAN端末は、同じチャンネルを使う必要があります。

## ●ネットワーク認証
無線LANで使われる認証方式の総称です。本製品がサポートしている認証方式としては、オープンシステム認証、共有キー認証、WPA/WPA2-PSKなどがあります。

## ●信号強度
無線LAN端末が無線LANアクセスポイント、またはほかの無線LAN端末から受信する電波の強さのことです。

## ●無線LANアクセスポイント（アクセスポイント）
無線LANアクセスポイントは無線LANルーターとも言われています。個々の無線LAN端末は、ネットワークの中心にある無線LANアクセスポイントを介して通信します。また、無線LANアクセスポイントはセキュリティ管理も行っています。

# ネットワークの仕様

## 有線 LAN（DCP-J715N、MFC-J615N）

| 項目 | 内容 | |
|---|---|---|
| モデル名 | NC-210h | |
| 対応 OS | Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2003 R2/2003 R2 x64 Edition/ 2008/2008 R2（ネットワークプリンターのみ）、 Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/ Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.4.11 ～ 10.6.x | |
| ネットワーク | 10/100 BASE-TX | |
| プロトコル | IPv4 | ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA(Auto IP), WINS/NetBIOS name resolution, DNS Resolver, mDNS, LLMNR responder, LPR/LPD, Custom Raw Port/Port9100, FTP Server, SNMPv1, TFTP server, ICMP, Web Services Print, LLTD responder |

## 無線 LAN

| 項目 | 内容 | |
|---|---|---|
| モデル名 | NC-220w | |
| 対応 OS | Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2003 R2/2003 R2 x64 Edition/ 2008/2008 R2（ネットワークプリンターのみ）、 Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/ Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.4.11 ～ 10.6.x | |
| ネットワーク | IEEE802.11b/g ワイヤレス | |
| 周波数 | 2400 ～ 2497MHz | |
| RF チャンネル | 802.11b (1-14), 802.11g (1-13) | |
| 接続モード | アドホックモード（802.11b のみ）、インフラストラクチャモード | |
| データ転送速度 | 802.11b | 11/5.5/2/1 Mbps |
| | 802.11g | 54/48/36/24/18/12/11/9/6/5.5/2/1 Mbps |
| 最大到達距離 | 70m（最も低いデータ転送速度）<br>（数値はご使用の環境など、さまざまな要素によって変化します。） | |
| ネットワークのセキュリティ | SSID (32 chr), WEP 64/128bit, WPA-PSK(TKIP/AES), WPA2-PSK(AES) | |
| プロトコル | IPv4 | ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA(Auto IP), WINS/NetBIOS name resolution, DNS Resolver, mDNS, LLMNR responder, LPR/LPD, Custom Raw Port/Port9100, FTP Server, SNMPv1, TFTP server, ICMP, Web Services Print, LLTD responder |

# 索　引